

食品加工用機械を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	14～15	食肉加工室において、得意先より受注した豚ひき肉を製造作業中に、1次加工のグラインダーより排出となったひき肉を、2次加工のミートチョッパーに原料投入の担当をしていたとき、投入口に脂の付着を発見し、本来はつき棒を使用して落ち込みを行っていたが、左手で落とし込もうとして、スクリューに左手を巻き込まれ、左手半分を切断した。	63	10101	7	100～299
2017	1	14～15	当事業所工場内にて機械清掃中、麺のかき寄せ機の棒に手を挟み、右手甲を打撲した。	28	10109	7	50～99
2017	1	8～9	第2工場包装室内に於いて、練り製品ラミ入れ作業中、製品の位置を直そうとして機械内部に右手を入れてしまい、右手第二指第一関節付近をカッター部に挟み、4針縫う怪我を負った。	28	10102	7	100～299
2017	1	12～13	食品製造工場で掃除をしている際、餃子を作る機械の電源を入れた状態でカウンタークロスを使用して拭き掃除をしていたところ、餃子が流れるレーンの上の押し出し口部分に右手親指を挟まれ、すぐに指は引いたが骨折してしまった。	35	10109	7	10～29
2017	1	13～14	飲料充填の為の工場内において充填作業中にケーサー（集積機）のトラブルが起きたので、トラブルの対応中に機械に指を挟み、右手人差し指を切傷した。	37	10101	7	30～49
		16～	工場内において、製造終了後の豆伸ばしコンベアー機械拭取清掃作業時、ウェスを使用しコンベアーを動かしながら拭き取っている				10～

2017	1	17	た所、コンベアー上部に設置されているローラーに右腕が接触し、右腕が引き込まれ、コンベアーとローラーに右腕が挟まった状態となった。	58	170101	7	29
2017	1	11～ 12	揚物工場2階凝固ラインを清掃していた時、高圧洗浄機ポンプを停止させないで（清掃ルールは必ず停止）左手薬指をポンプに入れ挟まれ、左手薬指の骨折を負った。	48	10109	7	100 ～ 299
2017	1	12～ 13	工場内スライス室において、スライサーの洗浄作業をしている際に、スライサーの刃に不用意に動かした右手人指し指が触れてしまい、指先を3mm程度切断してしまった（4針縫合）。機械は停止している状態で行ったが、手袋はあるものの着用していなかった。	28	10102	8	100 ～ 299
2017	1	12～ 13	精肉作業場にて、スライサーを使って肉をカットしている時、スライサーに肉片が詰まったので左手で取り除いていた所、起動させるレバーはOFFになっていたが、安全装置（主電源）はOFFにしていなかったため、腹がレバーに当たりONになったため刃が動き、左手薬指先を負傷する。	24	80209	8	—
2017	1	10～ 11	事業所店内の製麺室にて製麺中、麺帯を製麺機のローラーへ押し込む際、誤って手を入れてしまい指が巻き込まれ、左手中指薬指の第一関節の粉碎骨折し、同指に深い切創を負った。	26	140201	7	1～9
2017	1	19～ 20	当社工場内に於いて、焼きそばの蒸し器の縁を洗浄作業中、誤って機械を停止しないで作業した為、左手中指が歯車に挟まれ被災した。	59	10109	8	30～ 49
2017	1	18～ 19	構内バックヤードにて、組立て作業を行っている際に、滑って刃を落としそうになって、慌てて受け取り機械に取り受けようとした所、機械と刃の間に左手の小指を挟み、爪と指に刃が当たり出血してしまった。	20	80209	8	100 ～ 299
		20～	包装場にて、スティック梱包機が稼動中異音に気づき点検をした際、スティック梱包機の計量上昇のカバーがずれており、定位置				500

2017	1	21	に戻そうと機械を停止させず、カバーを掴んだ為前後に動いているシリンダーに左手中指を挟み負傷した。	44	170101	7	～ 999
2017	1	14～ 15	ミソ製造をする際に、茹でた大豆を電動ミキサー（大豆すり機）に投入して、ミンチ状にする工程が終了すると、ミキサーヘッドの中に大豆が少し残ってしまう。通常は電源を切ってから、ミキサーヘッドやその中で回転しているスクリーロールを外して分解清掃する。被災者は10年以上のベテランで指導的立場にあり、毎回そのようにしていたが、今回はミキサーヘッド内の残骸大豆をとるため電源を切らず、作動中に本来絶対に触れてはならない大豆投入口に手を突っ込んでしまったため、手袋が巻き込まれて手が引き込まれ、右手中指先端を切断してしまった。	63	10109	7	1～9
2017	1	21～ 22	当店調理場にて、フライヤー電熱器の跳ね上げ掃除中、ストッパー左側に右手が接触してしまい、ストッパーが解除され手前に倒れてきたところ、電熱器に右手中指を挟み負傷した。	38	80209	7	—
2017	1	14～ 15	当社派遣先である製造5部の大福製造工場において、機械に餅が付着していたため取り除こうとした被災者が、作動中の機械に触れ右手示指を挟まれて爪が割れ出血した。餅を取り除くときは、機械を止めてカバーをつけた上、安全手袋をはめて行うこととなっているが、機械が作動中に通常の手袋のまま機械に触ってしまった。	25	170101	7	1～9
2017	1	13～ 14	ペットフード原料製造開始前に、麺切り機のアルコール洗浄する際、電源を切らず安全ガードカバーをはずして行ったため、ローラーに右手を挟まれてしまった。	26	10102	7	50～ 99
2017	1	16～ 17	本社工場構内にて製粉作業を終了後、杵を順番に上げていく際、ロックが不完全だったために、杵が手の上に落下し負傷した。	61	10109	7	10～ 29
			構内にて機械オーバーホール（ベーキングプレート取り外し）作業中、一番初めのベーキングプレートを取り外すにあたり、隣な				

2017	1	9～ 10	りのベーキングプレートが干渉し取り外しが出来ない為、干渉を防ぐのにベーキングプレートを立てた状態で取り外し作業を開始したところ、振動で立てていたベーキングプレートが倒れ間に挟まれ受傷した。	29	10104	5	30～ 49
2017	1	6～7	事業所内に於いて、みたらしだんごの製造中、だんごの素となる生地を蒸練機より、バットに移しかえる際、生地を落としそうになったので、つい手が出てしまい、その熱い生地が右手（指先から肘あたりまで）に付いて負傷した。	47	10109	11	1～9
2017	1	9～ 10	給食室の電動型フードスライサーでキャベツを切っている時、フードスライサーの先端にキャベツが詰まってしまい、詰まったキャベツを取り除く為のレバー（一度破損した為、業者により修理してあった）を上げようとし、破損させてしまい、右手で押し込んだ際に中指先端を回転している刃で負傷した。	50	130201	8	30～ 49
2017	1	6～7	自社店舗内でパン生地を伸ばしているとき、生地が機械に付いたので取ろうとしていたとき、右手が機械内に入ってしまった。	56	10104	7	1～9
2017	1	11～ 12	粉摺り機で作業中、粉昇降機が詰まり、粉を取り除く際に電源を切るのを忘れて作業を行い、機械が急に動き出して昇降機下のらせん部分に指を挟まれ、右手人差し指と中指を損傷し、中指に粉碎骨折を負った。	61	80209	7	1～9
2017	1	16～ 17	事業場所パン屋で食パンをスライスしている時、スライサーという機械を使用中、パンの耳を取ろうとして、スライサーを止めないで、機械の中に指を入れて負傷した。	17	80209	8	1～9
2017	1	11～ 12	仕込室でスライサーで白菜をスライスしている時、手で白菜をスライサーに押し込んだために誤って右手中指先端を切創した。	48	140201	7	50～ 99
2017	1	10～ 11	コロツケを製造する為、ミンチを成形する時、型取り機作動中、機械に挟まっていたミンチを取り除こうと電源を切ったが、機械が完全に止まる前に誤って機械の一部分ローラーに触れてしまい、右手第2指が挟まれた。	62	80209	7	1～9

2017	1	23~ 24	おにぎりを製造する時に使用する加工ピローA飯成型機が、正常に作業しない為、修理をしようと成型機の蓋を開けた。蓋を開けると安全装置が作動するが、機械が止まると不具合箇所がわからない為、少しずつ成型機を動かし対応しようとした。手を入れて不具合場所を確認しようとした時、プレスと円盤に左手小指を挟まれ負傷した。脱臼と診断され、左手小指第一関節から切断する事となった。	41	10109	7	300 ~ 499
2017	1	11~ 12	自動スライサーで手順通りにパンをスライスしていたところ、最後の1枚をスライスする際に、パンに手を添えた為、刃物が指に当たって負傷した。本来は、最後の1枚まで自動スライスした後、重りがセンサーに当たって停止する機械で安全である。また、安全ガード内には絶対に手指を入れてはいけないものであるが、パンのやわらかさを考え、手を添えた方がまっすぐにきれいにスライスできると思い、安全ガード内に手を添えてしまったために負傷したと思われる。	41	10104	8	10~ 29
2017	1	9~ 10	当社工場内に於いて、いつものようにパイローラーを使用する前に清掃するため、タオルを敷いて右手で掃こうとし、足でペダルを踏む機械を踏み間違えてしまい、右手指が挟まり負傷した。	21	80209	7	1~9
2017	1	7~8	パン製造機でパンを製造するため、パンの生地を投入口に入れていた際、生地を送るローラーに右手を挟まれ、右手人差し指先を切断した。	37	140201	7	—
2017	1	1~2	製造室にて、麺帯を伸ばしてカットする機械のカッター下にある鉄板部分を清掃しようとしていた。機械の停止ボタンを押したが、完全に刃が停止する前に、カッター部分の下に左手を入れた為、動いていたカッターの刃によって、左手の第2~4指が第一関節部分で切断された。	60	10109	7	100 ~ 299
			粉碎工程にて運転不調があり、被災者が支援に入った。乾燥機出口のサイクロン下部ロータリーバルブからの粉末排出が悪いため				100

2017	1	1~2	確認しようと、出口側のパイプから右手を入れたところ、ロータリーバルブの回転体に中指を挟まれた。	25	10102	7	~ 299
2017	1	16~ 17	麺製造工場1階にて麺を製造している時、2階で麺がたまり、1階から2階へ麺を運ぶチェーンと麺をかけている棒がからまり、そのからまりを直す為チェーンを引っ張った時、チェーンと歯車の間に指がはさまり、左手薬指を負傷した。	41	10109	7	10~ 29
2017	1	10~ 11	弊社工場内包装室天ぷら2号ラインピロー包装機にて、包装紙切替作業中にカッター部分に指を挟まれ、右手中指先端を切断した。	23	10102	8	50~ 99
2017	1	8~9	加工場内第二加工室にて、ミンチ製造機械の試運転中、作業中に肉押さえのカバーが外れ、肉を切る刃とコンベアーの間に挟まった為、左手で刃を持ち上げながら右手でカバーを引きだしたところ、誤って左手を離してしまい刃が下りてきて、左手小指を切創した。	66	10101	8	100 ~ 299
2017	1	10~ 11	当社工場内にて、牛ハラミをフードスライサーでカットして機械出口で肉を受けていたところ、出口に肉が詰まり、掻き出そうと手を機械の出口に入れた際、中で回転していた刃に当たり負傷した。	43	10101	8	100 ~ 299
2017	1	19~ 20	厨房で製麺機を使用後、製麺機の清掃をするため機械の中のくずを掻き出す空運転をし、機械下部のローラー脇のくずを指で取り除こうと椅子から立ち上がった時、持病の腰痛の影響により体勢を崩してしまい、指がローラー脇の歯車に挟まれ切断した。	59	140201	7	10~ 29
2017	2	15~16	厨房にて大型のスライサーでキャベツの千切りを行っていた時、キャベツがスライサーのコンベア奥で止まったまま進まなくなってしまったため、スライサーを止めずに動いたままの状態を右手を押し込んでしまい、中指の先を削ぐように切ってしまった。	59	80209	8	50~ 99
2017	2	12~13	厨房にて、スライサーで大根を切っている際、誤って刃の部分で、右手人差し指を切ってしまった。	57	80209	7	1~9

2017	2	13~14	工場内、肉魚処理室の冷凍肉スライサーにて豚原木のスライス作業中、原木に右手を添えた状態でスライスを行っていたところ、右手が滑って回転刃に接触し、親指付け根、薬指爪先を被災した。	59	10109	8	500 ~ 999
2017	2	9~10	店内作業場において食肉用スライサーを洗っている時に刃に触れてしまい、左手人差し指の先を切ってしまった。	37	80209	8	50~ 99
2017	2	8~9	工場内製造一課にて冷凍スリ身をブロックカッター機械で裁断していたが本来ならスリ身を戻さないが、きちんと切れなかったため押し戻した際、上から降りてくる刃に指が触れ右手人差し指骨折裂傷してしまった。	47	10102	8	50~ 99
2017	2	9~10	本社工場内において、ワカメカット作業中、フレッシュワカメカット作業からボイルワカメカットに切り替えるため、刃を外し洗浄作業を行う。刃の清掃作業が終了し、次の作業のための刃を取り付ける。刃を取り付けた後、若布の残骸に気づき機械に手を入れ左人差し指を切断する。（安全カバーのセンサーが不具合を起こしていた。）被災者は、刃を取り付けたことを忘れていた。また通常はスイッチを入れた状態で手を入れると、安全カバーが外れた状態では作動はしない。	50	10102	8	30~ 49
2017	2	10~11	野菜室においてキャベツの芯とり機の清掃中、ゴミを取ろうとして右手を入れたところ、刃に当たり右手小指と中指を怪我してしまった。	60	10109	8	50~ 99
2017	2	15~16	店内キッチン売場において作業中、展示品の野菜みじん切り器の回転刃が保護ケースから外れているのに気付かず、右手で握ったところ中指に切傷を負ってしまい負傷したものである。	55	80209	8	10~ 29
2017	2	21~22	野菜人参原料の皮むき機で作業終了後、機械の移動中機械を持っていた左手が外れてしまい尻餅をつく形となり、その際に咄嗟に手をついてしまった事により強打し打撲となってしまった。	50	10109	2	300 ~ 499
			畜産作業場で、スライサーの清掃をしようとスライサーに手を近				500

2017	2	19~20	づけた際、チェーングローブを装着せずに作業したため、左手人差し指が刃に触れて第2関節を深く切った。	59	80209	8	~ 999
2017	2	9~10	給食調理室で、野菜裁断機で人参を切る作業をしている時、機械に人参が詰まって送り込まれないと感じ手で人参を押した。その際、誤って自身の右手中指第一関節付近を切断してしまった。	51	120109	8	1~9
2017	2	11~12	店舗キッチンにおいてスライサーを使用してキャベツの千切り作業をしていたところ誤ってスライサーの刃で右手小指を切り受傷したものである。	33	140201	8	30~ 49
2017	2	11~12	当社食肉加工場で、ミートチョッパーを用いて挽き肉にする作業中、原料が機械に詰まり、それを取り除こうとした瞬間、右手人差し指と中指が機械に巻き込まれ切断した。	27	80109	7	10~ 29
2017	2	10~11	製パンデニッシュ課室内で、リバースシーターで生地折り込み後の掻き落としの為、ダスター（布）を持ち横にスライドさせながら刃の清掃をしたところ誤って人差し指を切ってしまった。	44	10104	8	100 ~ 299
2017	2	18~19	店舗調理室にて、仕込みの為フードカッターで玉葱を微塵切りにしていた際、誤ってフードカッターの刃が左手に当たってしまい、左手人差し指を切り、3針縫った。	16	140201	8	—
2017	2	18~19	店舗内の蕎麦打ち場で、蕎麦打ち機の清掃中に、ロール部分に付着していたそば粉を取ろうとした時に、誤って指が挟まれてしまい左手の指を負傷した。	38	140201	7	1~9
2017	2	10~11	野菜カット洗浄室での事故である。野菜をカットするスライサーにネギを入れてカットしている時、スライサーの投入口がネギで詰まったため、手で強く奥に押し込んでいたが、その際誤って指がスライサーの刃の部分に接触してしまい、右手中指先を裂傷したものである。	20	10109	8	100 ~ 299
			当社工場内にて、被災者がパンの生地を練る横型ミキサーを清掃作業中に本来は機械を止めて清掃しなければならないと指導され				



2017	2	15~16	ているが、復帰ボタンを押し、機械の開閉部分が閉まってくる間に機械の奥を右手で拭き上げをしていた際に、閉じてくる機械間に合わず、頭が挟まり左耳の前部分を負傷、また閉じてくる機械を左手で強く押さえたため、左手中指第1関節付近を切傷したものである。	69	10104	7	1~9
2017	2	13~14	工場内にて海苔きざみ作業中機械の刃の部分で、右手薬指に裂傷を負った。	54	80109	8	1~9
2017	2	11~12	あられ切り作業所において、あられ切り機を可動している時に手を入れてはいけない所に手を入れ指を切断してしまった。	41	10104	8	1~9
2017	2	10~11	本社4階製麺室にて麺を製造する機械の清掃作業をしていた時、機械を運転させて、機械上部面を清掃し、その次に機械を停止させて機械の下面の清掃を行う手順になっているが、機械を運転させたまま清掃作業を行ってしまい、機械に指を挟んでしまった。	45	140201	8	10~29
2017	2	10~11	厨房内でパセリを裁断しようとして裁断機に入れたところ、パセリが進まないでカバーを外しパセリを送ろうとした際に、左手が滑り、左手の指先を裂傷した。	66	140209	7	—
2017	2	6~7	食パンラインで作業中、パンの生地の状態が荒れていたため、ストレッチャー（機械）のカバーをあけ、バーに絡まっている生地を取り除こうとした際に、カバーを上へ上げようとした際に上にある操作盤（左右に回転する）に当たりその弾みでカバーを持っていた右手が外れ、カバーが落下した。咄嗟に左手を引いたが間に合わず、カバーの側面の一部に挟まれ、左手小指の爪の付根より切断した。	24	10104	7	500~999
2017	2	13~14	冷凍おにぎり製造工場内で、成型作業中に成型機で指を挟み負傷した。傷病部位は右親指である。	31	80109	7	30~49
2017	2	10~11	工場内にてパンの生地を平らに伸ばすための機械（モルダー）を操作中、生地が詰まったため手で押し込もうとした際、機械が動き出し、右手が巻き込まれた。	24	10104	7	100~299

2017	2	15~16	工場でおびとりマシーンを動かしている時、カッターで手を挟んだ。右手薬指骨折。	23	10104	7	—
2017	2	4~5	ウエスを手に巻き付けて、清掃モード用スロー回転で、アタッチチェーンを清掃中、ウエスがチェーンに引っ掛かりチェーンとスプロケットの間に指を巻き込まれた。	42	10104	7	50~ 99
2017	2	8~9	製品部でV字スライサーにて、パンをスライス作業中に、パンが投入途中で詰まった為、パンを流そうと右手で押し込んだところ右手中指がカッターの刃に接触し負傷した。	66	170101	8	30~ 49
2017	2	17~18	スライサーの刃を清掃中、（切創手袋をせず軍手とゴム手袋を着用）回転刃が左手に接触した。	20	80209	8	100 ~ 299
2017	2	8~9	自動玉子焼機で玉子焼を製造中の事故である。玉子が二枚重ねで焼けた時点で軍手をして形を整えていた時、手を離すタイミングが遅れて機械の蓋に左手親指を挟んで負傷した。（整形が必要な時だけ行う作業し、本来なら機械が18秒程度停止している間に作業するが今回は遅れてしまった。）安全対策としては、蓋押さえの下りる箇所に停止ボタンを設置し、押さえの動作スピードを以前よりも遅くした。また、以前から手を入れないようにしていたが、今後も機械内に手を入れないよう周知徹底した。	67	10109	11	1~9
2017	2	7~8	当社本社調理場において、キャベツをスライサーに入れて作業中、キャベツの切れが悪かったので、蓋を開けてキャベツを押し込んだ時にスライサーの刃で左手中指を負傷した。	67	80209	8	30~ 49
2017	2	10~11	解体室のラピッド（と体上半身バラシ機）でキャリアに、上半身と体を掛ける作業をしていた。その時ラピッドの一部にヤゲン軟骨が溜まっているのに気付いた。そのヤゲン軟骨を取り除こうとしたところ、移動中のキャリアと接触してしまい、左手人差し指を創傷した。	63	10101	7	100 ~ 299

2017	2	10~11	加工場内の作業場で、バンドソー機械で魚をカットしている時に、魚が機械の刃の部分に挟まった為、機械を止めて取り除こうとした際に誤って右手の中指を切ってしまった。作業中は厚手の革手袋を着用しているが、手袋をつけたままでは魚片を取り除けなかった為はずしていた。	35	10102	8	50~ 99
2017	3	11~12	味噌づくり加工指導中、大豆が煮えたことから味噌漬しのホッパーに大豆を入れ、漬し作業を開始した。終盤に差し掛かった時点でホッパー吐出が詰まったことから、一旦電源を止め、吐出口カバーを外し、へらで螺旋軸を掃除しようとするが、その際膝が金口スイッチに触れたため電源が入り、へらが右手から外れ、ホッパーに右手が入り、右手の指3本を切断した。	77	170209	7	1~9
2017	3	12~13	レストランの厨房で調理作業中、麺を押し出す機械に生地を入れたあと、左手で押し出し部の可動レバーを操作中、生地の投入部付近にはみ出ていた生地が気になり、右手親指で投入口に戻そうとした際、誤って右手親指先端部を挟み負傷した。	23	140201	7	50~ 99
2017	3	11~12	工場の牛タンの皮むき場にて牛タンの皮を剥いている際、誤って手が滑り、皮剥機の刃で左手中指を切った。	20	10109	8	50~ 99
2017	3	11~12	店内の惣菜作業場において、巻き寿司をカットする機械を使用して作業していたところ、急いでいたため、カット台に右手が置いてある状態で誤って左手でカッター刃をおろしてしまい、右手の甲を負傷した。	71	80209	8	10~ 29
2017	3	9~10	揚玉を脱油機に移動するバケットコンベアのチェーンが外れていたため、元の状態に戻そうと試みたところ、チェーンと歯車の間に左手中指が挟まれ一部欠損した。	62	10109	7	10~ 29
			当社工場内ベーカリーライン包装装置において、梱包作業中、梱包用のフィルムが無くなったため、新しいフィルムと交換し包装機を動かしたところ、フィルムが詰まってしまったため、包装機を一度止め、詰まりを排除したあと再度動かそうとしたが、朝から				

2017	3	11~12	包装機が不調でラインが遅れていたために焦ってしまい、本来「フィルム手動」のスイッチを押してフィルム先端を排出側まで送ってから起動ボタンを押すが、「フィルム手動」のスイッチを押さずに起動させたため、本来動かないトップシーラーにフィルム先端を引っ張っていた左手人差し指を挟まれ負傷した。	20	10109	7	50~ 99
2017	3	7~8	C生産仕込室にて、アイテム切替時にベルトを停止し清掃作業を実施した。清掃終了後の稼働時に生地残渣を発見し除去しようと手を入れてしまい、ガイドに手を巻き込まれた。	30	10104	7	100 ~ 299
2017	3	8~9	工場内のねぎとろ製造場内において、ねぎとろの製造をするためにサイレントカッターを回転させていたところ、誤って右手が接触し負傷した。	62	10102	8	10~ 29
2017	3	15~16	センター内餃子成型機の清掃中、成型機を拭いているときにセンサーから手が離れ、回転ローラーが作動して左手を巻き込まれた。	45	10101	7	100 ~ 299
2017	3	16~17	深絞り真空包装機で厚焼き玉子の包装中、上材フィルムがなくなったことに気づきタッチパネル操作盤のストップボタンを押し、下材フィルムが熱板にくっつかないように下材フィルムを押し下げていたところ、ボタンがきちんと押されていないため、下側の金型が上昇してしまい上下の金型に挟まれて火傷した。	45	10109	7	50~ 99
2017	3	11~12	キッチン内にあるスライサーで肉を切っていた際、解凍時間が短く硬い状態であり、肉も長く、錘が上から乗せられない状態で切っていたため肉が動いてしまい、あわてて右手で押さえた際に右手親指を削ぎ落とした。	22	140201	8	10~ 29
2017	3	19~20	精肉作業室でスライサーの清掃作業中、丸刃の中心から外側にカウンタークロスで拭いていた時、刃に鎖手袋をしていない左手薬指が当たってしまった。	20	80209	8	50~ 99

2017	3	4~5	精肉のスライサーを組み立てる作業中、まだ安全カバーが取り付けられる前にスライサーの刃を回してしまい、そこに指を突っ込んでしまい、小指と薬指を切除してしまった。	26	80209	8	10~ 29
2017	3	11~12	食肉加工工場内にて、自動肉切断塊（ベンディングスライサー）で牛肉の焼肉商品を製造中、機械の自動研磨の後、まだナイフが回転中のところに右手中指第二関節より先を当て削いでしまった。	36	10101	7	50~ 99
2017	3	17~18	作業終了後にプレス機の洗浄をしている時、左手をプレス機の上に置いてスイッチを入れたことにより上下に動き、手の甲を切ってしまった。	36	10103	7	30~ 49
2017	3	18~19	ウインナーの充填作業中、3号ラインで作業していたが、2号ラインの調整を行うために3号ラインの自分の持ち場から離れ、2号ライン側へ身体を向けた際、被災者は、本来2号ラインで作業する位置とは反対側から機械を調整しようとした。パッキン取付部に指を入れ調整しようとした際、2号ラインの作業着が起動スイッチを押してしまい、充填ノズルとパッキン取付部に左手第五指を挟まれ被災した。	27	10101	7	500 ~ 999
2017	3	15~16	製品作業場の凍結準備室でメンチカツの製造中、成型する機械にメンチカツの具材をホッパー内に補給する作業中に、右手でホッパー内の具材を押し込んだ際にホッパー内の具材が少なかった事で、スクリュウに右手が巻き込まれ、右手の平を損傷した。	51	10109	7	10~ 29
2017	3	9~10	作業所内でキムチの攪拌が終わって、バットにキムチを入れ終わったので、機械を止めるように言ったつもりだったが、声が小さかったのか相手に伝わっておらず、自分は止まると思い込んでしまって、少し残っているものをとろうとして機械に巻きこまれて、右腕を骨折し、指のつけ根を切った。	65	10103	7	1~9
2017	3	14~15	真空機を用いてお粥を作成するため真空袋にお米を入れ封入する際に、誤って足元のスイッチを踏み、熱戦ヒーターの扉が閉ま	49	80209	11	50~

			り、右手人差し指を挟み込み受傷した。					99
2017	3	8~9	店内仕込場において、使用後の電動のねぎスライサーを分解し、清掃をしようとしたところ、電動スライサーの回転刃に4つ組み合わさっているユニットのカバーを取り外そうとした時、誤ってスライサーのねぎの投入口に右手を入れてしまい、人差し指を負傷した。	41	140201	8		10~ 29
2017	3	8~9	作業場で生食スライサーでローストポークをスライス作業中に、肉の押さえバーを下ろし忘れたため、慌ててバーを下ろそうとした。スライサーを止めずにバーを下ろそうとしたため、左手がスライサーの中に入ってしまい、左手小指と薬指がスライサーの刃にふれ切創した。	43	80209	8		100 ~ 299
2017	3	11~12	厨房にて、野菜の下処理（食べやすい大きさに切る準備作業）として電動スライサー（ある程度人の手で押し、最後は蓋で押し込むような形式）を使用しキャベツをスライス（約幅1cm、長さ5~6cm）していた際、1/4にカットされたキャベツを投入し、ある程度手で押し、キャベツの長さを調節する為（そのままの状態だと長くなる為）、電源を切らずにキャベツの向きを変えようとした時、指先に刃が当たり切ってしまった。	62	130101	8		100 ~ 299
2017	3	11~12	当社前処理室でヒレ取り機で鮭のヒレを取る作業中、誤って左手の人さし指の爪を切った。	32	10102	8		50~ 99
2017	3	9~10	工場内包餡機の調子が悪いという報告を受け、確認すると包餡後の商品に傷が見られたため、機械を一旦停止し調整を行った。調整後、パート職員に調整後問題なく動作していることを動作確認しながら調整箇所を指差しで説明していたところ、誤って上下動作をしているリングと調整箇所の間指が挟まれ負傷した。	29	10104	7		100 ~ 299
2017	3	9~10	食堂厨房内にて、豚汁に使用する大根をいちょう切りにする為、専用の野菜スライサーでカットしていた時、誤って右手親指を回	67	140201	8		30~ 49

			転している刃に当ててしまい、5針縫う怪我を負った。				
2017	3	11~12	精肉部作業場に於いて、スライサーで豚肉コマ切れを製造中、そのスライサーの下部に溜まっていた肉を取ろうとして、スライサーの刃が完全に止まっているのを確認せずにカバーを開け、回転中の刃に誤って触れ、左中指を切傷した。	65	10109	8	100 ~ 299
2017	3	6~7	工場盛付室において、寿司成型作業終了後の清掃時、連続巻成型機のS刃を工具を用いて取り外す際に誤って左手を滑らせ、左手親指を切創した。	27	10109	8	500 ~ 999
2017	3	9~10	派遣労働者として勤務していた被災者が、下処理場にて生姜のすりおろし作業中、すりおろし器のスイッチが入っているのを確認したが、作動しなかったため、材料が詰まっていると思い、確認しようとしたら突然動き始め、触れていた右手が回転部に触れて示指と中指を受傷した。	45	10103	7	100 ~ 299
2017	3	11~12	製麺工場ミキサーステージにてミキシング作業をしている時に、ミキサー運転中に蓋を開け、センサーが働いて停止しようとしている時に、完全に停止していない状態のところに、手をミキサー内部に入れて、右手首をミキサーピンと胴の間に挟んでしまった。麺カスを再利用するために投入していた物をどかさうと手を入れてしまった。	48	140201	7	1~9
2017	3	16~17	当社工場内で掃除している時に、機械（スライサー）に大根が挟まっており、機械を止めて、取り除かないといけなところを機械を止めずに大根を取り除いた為、右中指の先を切った。	35	10103	8	50~ 99
2017	3	14~15	精米機で精米中に、精米が終了し、機械が停止したと思ってカーボンの刷毛を使って精米した米を移動させる回転式のローラー回りの清掃するため、米ぬか等を取り除こうとしたところ、ローラーが完全に止まっておらず、左手人差し指の先端がローラーにはさまれ切断した。	49	10109	8	30~ 49
			茹卵製造工程の卵の殻をむく工程の水が詰まり、それを解消する				

2017	3	11~12	<p>為に配管のフタを落としてしまい、水流に乗って卵かく搬送コンベアまで流れて行ったフタを追いかけて、かき上げ部に入らないうちに取りろうとし、動いているスクレーパー部に腕を巻き込まれ骨折した。</p>	52	10109	7	100 ~ 299
2017	3	9~10	<p>被災者は製造課味付担当主任であるが、当日は包装機の作業に加わっていた。朝、生産開始されるラインにて海苔の切断状況等の確認中、海苔送り爪の不良ヶ所を発見し、様子を見ようとしゃがみ込み覗き込んだところ、手を出してしまい、回転していた海苔送りチェーンとスプロケットに右手人差し指から小指まで挟まれ負傷した。</p>	38	10102	7	50~ 99
2017	3	16~17	<p>工場内でジャーキー肉をスライスする機械メンテナンス作業中（油をさす作業中）、油をなじませるために機械を作動させた際、誤って右手の中指と薬指を機械の刃の部分にはさまれ、指の肉と骨を縦に3つに切られた状態となった。</p>	45	10109	7	1~9
2017	4	13~14	<p>施設外就労先の豆腐工場内にて、機械洗浄の作業中、豆計量機のスイッチを切り忘れ、労働者の不注意により危険箇所へ右手を入れてしまい、右手示指・中指の末節部を切断した。</p>	35	130201	7	10~ 29
2017	4	14~15	<p>キッチン（そばライン）調理台で、ネギをスライスするため、スライサーでネギを切っていたところ、電源を止めずに下にぶら下がった切れていないネギを取ろうとして、右手人差し指を7針縫う怪我をした。</p>	17	140201	8	30~ 49
2017	4	13~14	<p>店舗内焙煎場にて珈琲ミルの奥に豆かすが詰まってしまい、右手人差し指をミルの中に入れ豆かすを取り除こうとした際、誤ってミルを作動させてしまい切創した。</p>	34	140201	8	10~ 29
2017	4	15~16	<p>工房内で、アームミキサー（生地を作る機械）を使用して饅頭生地を作っている際に、小麦粉を投入した後に小麦粉が容器からこぼれ落ちるのを防ごうとして、左手をアームミキサーの中央に入れてしまったため、交差する左右のアームに左手のひらを挟まれ</p>	27	10104	7	100 ~ 299



			負傷した。				
2017	4	14～ 15	工場でイカの耳をリングスライサーで処理しているとき、イカの耳が下のベルトにはさまっているのを取ろうとし、誤って左の薬指を負傷した。	27	10102	7	100 ～ 299
2017	4	9～ 10	事業場内で商品の切断作業をしている時、誤って切断機に指が触れてしまい、左手小指・薬指を切傷した。	44	10109	8	10～ 29
2017	4	8～9	惣菜部門において、ローストビーフサラダの盛り付けの準備で、ローストビーフを機械でカット作業中、均一にカットされていないところがあり、手で原料を押したところ、左手小指側面が刃の回転部分に触れて裂傷が生じ、7針縫合した。	61	80209	8	50～ 99
2017	4	10～ 11	製造2課1号笹かま成形ラインで、笹かま成形作業中、串抜けトラブルセンサーが点滅したため確認したところ、2本抜けていた。1本は床に落下していたが、もう1本は串搬送ポケット部に落下しているのを発見し、生肉の下に串があると思い、肉を素手で取り除こうとした際、隙間に指が入り巻き込まれ負傷した。	19	10102	7	100 ～ 299
2017	4	8～9	工場において、電動の餅つき機で両手で餅を反しながら餅をついていたところ、誤って左手小指が杵につかれてしまった。	65	80209	6	1～9
2017	4	10～ 11	自動包装機の下シーラー付近の汚れを拭き取ろうとして、稼働中の自動包装機に手を入れ裂傷した。	55	10104	8	100 ～ 299
2017	4	16～ 17	店舗1階工場作業場にてコロッケ型取り機を用いて、コロッケ作成時に形の悪い物が連続に出て来た為、電源を切るのを忘れて手を出してしまい、コロッケ出口のワイヤーに指を挟み込み、左手人差し指の先端部を切断した。	25	140201	8	30～ 49
2017	4	15～ 16	1階仕込室で蒸練機の洗浄中、羽を手動で逆時計回りに動かした。その際に洗剤で手が滑り、右手小指を練出口と羽の間に挟み、右手小指を裂傷および骨折した。	61	10104	7	100 ～ 299

2017	4	9～ 10	セントラルキッチン工場内の皮剥ぎエリアで、スキナーで皮剥ぎの作業中に、牛たんを押さえようとした際に左手手指を損傷した。	29	10109	7	100 ～ 299
2017	4	15～ 16	工場内で海苔を裁断中に刃に左手中指が触れてしまった。	67	80109	8	10～ 29
2017	4	22～ 23	厨房内作業台上でねぎを切っている時にねぎが目にしみたため、手元を確認せずに専用のスライサー投入口に指を入れ、左手中指及び薬指を切った。	43	140201	8	1～9
2017	4	10～ 11	キッチンにあるアイスクラッシャーで氷を砕いている際、受け皿がいっぱいになったため左手を氷噴出口に入れて氷をかきだそうとしたところ、人差し指が回転している刃に巻き込まれ、5cmほどの裂傷を負った。	32	140201	7	50～ 99
2017	4	12～ 13	調理室でおやつ調理の為、人参をブレンダーにかけた後、本体から刃のついた接続部分を外そうとした際、電源プラグを抜く前に取り外し作業をしまい本体スイッチボタンに誤って触れて、回転した刃に巻き込まれ右手中指を被災した。	31	130201	7	10～ 29
2017	4	14～ 15	ミキサーを洗っている時に水の中に手を入れてしまい、刃があたって切れた。	56	80209	8	1～9
2017	4	10～ 11	本社工場内にてミキサー掃除をしようと手を入れた所、誤ってミキサーに右手中指が当たってしまい切った。	38	10109	8	30～ 49
2017	4	10～ 11	惣菜作業場にて巻寿司を巻いている時、焦っていたため、誤って機械の金具に右手薬指を挟んだ。	28	80209	7	100 ～ 299
2017	4	9～ 10	給食室にて刃が回転する裁断機を使って大根をカットしていた際、手が滑り、左手の指が刃にあたった。左手で大根を入れ、右手でハンドルの上げ下げの操作を行っていたが、四つ割りにした大根が濡れていたため手が滑り、奥まで手を入れすぎてしまっ	66	80209	8	1～9

			た。				
2017	4	12～ 13	事業所内にある、あんころ餅を製造する工場内で、包あん機を作動させた時に出始めのあんが乾いているのを発見し、機械を停止させるボタンを押して機械を停止させたつもりが作動ボタンを押し、機械の停止を確認せずに右手を入れてしまい、機械に挟んだ。	50	10104	7	10～ 29
2017	4	11～ 12	加工場においてフライヤーで手揚げ製品を揚げる作業を担当し、フライヤーから揚げ出てきた製品を軍手とビニール手袋をした手で整える作業を毎日繰り返していたところ、徐々に火傷の水膨れや炎症の症状が起きてしまった。	67	10109	11	30～ 49
2017	4	10～ 11	肉を切る機械を掃除している時、回転している機械の刃に指が当たって切れた。掃除の為にスイッチを切ったが余韻で動いていた歯に手を出してしまった。	36	80209	8	1～9
2017	4	12～ 13	わさび茎を洗浄する機械（幅1.2m長さ4m高さ0.8m）の角型水槽で、ステンレス棒にビニールの管（熊手の様な形）が付いた搬送コンベヤーでわさび茎を洗い洗浄する。作業が終わり、水槽の水を排出し始め、機械の清掃を始めたとき、搬送コンベヤーは動いていた。水槽内の底の隅の方に残っていたわさび茎を前屈みになって取ろうとしたところ、回転している搬送コンベヤーと固定されている駆動軸の間に左腕を巻きこまれた。	29	10103	7	30～ 49
2017	4	17～ 18	当社工場内において、グラインダーを使った冷凍魚の成形加工中に、魚が少し溶けていた事が原因で、手に持っていた魚が横滑りしてしまい、回転している刃物に左手前腕部が接触して負傷した。	22	10102	8	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	本社工場内で型枠から降りる際に足を下ろした所、別の型枠がありその型枠の上に足を下ろしてしまい、足を捻りながら転んで足首を骨折した。	46	170101	7	300 ～ 499
			店内にて、ピザ生地をミキサーで混ぜ合わせているときにまわっ				

2017	4	11～ 12	ているミキサーの中にプラスチックのタッパー容器が落ち、とっさに拾おうとしたところ、ミキサーのアームに巻きこまれ左手の手の甲に裂傷し、出血が多くあった。	26	140201	7	1～9
2017	4	15～ 16	洗浄室にて洗浄機を洗っている時に、スポンジを粉碎機の投入口に落としてしまい、それを拾おうと投入口に手を入れたところ、まだ回転していたプロペラに当たり、右手指を切ってしまった。	37	10109	8	30～ 49
2017	4	10～ 11	工場内のパスタ押し出し成形機を稼働中に、コンベアから成形機に入る入口で粉の流れが悪くなったので粉を均そうとした。機械が止まっていると思いフタを開けて手を入れたが、機械は止まっておらず、回転している板に指を巻き込み右手の人差し指、中指、薬指を切断した。	26	10109	7	50～ 99
2017	4	10～ 11	事業所内で、ごはんの梱包作業中、機械の一部にごはんがつき、それを取り除こうとしたところ、次に流れてきた製品と機械の間に右手薬指を挟んでしまった。	51	10104	7	10～ 29
2017	4	10～ 11	派遣先工場内で、ごはんの梱包作業中、機械の一部にごはんがつき、それを取り除こうとしたところ、次に流れてきた製品と機械の間に右手薬指を挟んでしまった。	51	170101	7	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	当社事業所にて醤油造りの為に大豆冷却機で大豆をさまし、そのさめた大豆と小麦とコウジ菌を混ぜながら大豆をつぶす機械に大豆を入れる作業中、投入口に大豆がたまったので、それを手でかき落とそうとした時あやまって左手中指が回転した刃にふれ負傷した。	30	10109	8	10～ 29
2017	4	8～9	餅製造の加工場で餅の製造作業中、他の従業員がもちつき機の回転ドラムの中から小餅切り機の中へ餅を入れるとき、被災者が説明しようとして回転ドラムのハンドルに右手があたり、右手を2ヶ所負傷した。	60	10109	3	1～9
			ライン生産中に、坐り機内のかすをヘラで取ろうとして、稼働				300

2017	4	9～ 10	(回っている) している坐り機内に左腕を入れたところ、作業服がベルトギアに巻き込まれてしまい左腕上腕部(二の腕)、左脇腹を挫創した。	29	10102	7	～ 499
2017	4	17～ 18	茶工場内にて荒茶製造中に中揉機へ点火作業を行う際、ガスの元栓を先に開いた状態で点火したため、中揉機のBOX内にガスが充填し引火し破裂した。破裂した際に左手と顔に熱風を浴び火傷した。	49	10109	11	1～9
2017	4	13～ 14	当社工場内に於いて、のりをカットする機械で、材料の端切のつまる部分を掃除しようとローラーを拭く際に手に持っていた布が滑り、右手くすり指が機械のミシン目刃にあたり、切傷を負った。	44	10102	8	10～ 29
2017	4	10～ 11	ムネ解体機ササミ採取ライン上にてササミ採取作業中に、右手が機械内部に巻き込まれ、右手中指指先を切断した。安全措置を通り越し、機械内部へ手が入り込める構造であったことと、作業に追われ機械内部に近い位置で作業を行っていた可能性が考えられる。	56	10101	7	300 ～ 499
2017	4	11～ 12	工場内のキャベツの芯取り作業場で洗浄機を3人で移動の為、ハンドリフトに乗せる作業中、洗浄機を降した時に洗浄機とリフトの端にはさまれ、左手小指の先端から多量の出血と、4cm程の切傷及び爪の部分が内出血で黒ずみ指の痺れが生じた。	72	10109	7	50～ 99
2017	4	10～ 11	第一工場にて飴を成型する作業中、機械に飴がくっついて作業が止まったため、機械からくっついた飴を取り除く際、左手を駆動部分にかけた状態だったため左手人差し指を挟んでしまい切断した。	29	10104	7	30～ 49
2017	4	10～ 11	工場内での栗の製造工程において、製品の整形機のベルトに汚れをみつけたのでタオルで拭きとろうとした際、機械を止めずに行ったためタオルが機械に巻きこまれ、慌てて取ろうとしたときに自分の右手をローラーに巻き込んだ。	67	10103	7	50～ 99

2017	4	8~9	当社工場内で、豚骨を電動鋸でカットし、次に鶏肉をカットする作業の際、誤ってゴム手袋の上から鋸刃が左手親指の先方にあたり指先を切断した。	32	10109	8	10~ 29
2017	4	12~ 13	当事業場内でコロッケ製造中に、成型機で型取りしたコロッケを左手で受ける作業中に、コロッケのタネの切れ端が成型機の棒状の部分に落ちた。その切れ端をとろうとした際に通常は機械を止めて取り除く作業をするが、右手がとっさに出てしまい、回転している成型機と棒状の部分との間に指が巻き込まれ、右手人差し指第一関節部分（2センチ程度）を切断した。	56	80209	8	10~ 29
2017	5	22~ 23	野菜の水切りをするため遠心分離機にかけ、止めるのスイッチは押したものの完全に静止する前に蓋を開けてしまい、右手を弾かれ負傷した。	64	10109	3	500 ~ 999
2017	5	17~ 18	作業場にて生スライサーの刃を左手で拭いている際、左手が滑って左手の薬指を切ってしまった。	62	170101	8	300 ~ 499
2017	5	7~8	工場内で、湯煮させたよもぎを味噌醸造機械でミンチしている作業中、機械の中で隅に溜まっていたよもぎを落そうとして、熱い大きめの手袋をはめていた為、手袋と一緒に左手を巻き込まれた。	63	10109	7	10~ 29
2017	5	9~ 10	1階食品加工場にて、野菜（人参）をカット用機械を使用してカット作業をしていたところ、左手人差し指と親指が機械内部に入ってしまう、カット用の刃で切創した。	41	10101	8	10~ 29
2017	5	3~4	食品製造工場の和菓子仕込室にて、粉付け機の粉交換を実施していたところ、通常通り運転した状態で粉を取り出していたが、被災労働者が粉を早く落そうとして、粉付け機の回転部に右手を入れてしまい、右手が巻き込まれて中指の爪が剥がれた。	42	10104	7	500 ~ 999
			和菓子の粉付け機の粉の詰りを除去しようとした際に、カバーの				100

2017	5	3~4	メッシュ板（ステンレス製）を外して作業をしたとき回転部が低速だった為、手で粉を取ろうとしたときにタイミングが悪く、指を挟んでしまった。	42	170101	7	~ 299
2017	5	17~ 18	ベーカリーコーナーにおいて、モルダー（パンの生地をのぼす機械）の清掃中にパンのくずが見えたので取ろうとし、取れなかったためモルダーのスイッチを入れて動かしながら取ろうとした時、持っていたタオルがローラーに巻き込まれて右手人差し指が挟まれた。	38	10109	7	30~ 49
2017	5	10~ 11	当社厨房内において、キャベツスライサー機の清掃する際、機械を停止させないまま素手で清掃作業を遂行中、誤って右示指を回転中の刃に当ててしまい、すぐに作業を中断した。「機械停止の上、当該作業を行う」という作業標準を無視した本人の安全意識の低さと、使用者側の安全教育の不足が当該事故の主原因と思われる。今後は全作業者に対し、作業標準を順守させるよう事業主に指導すると共に、当該作業時の保護手袋着用との検討を提案した。	65	140201	8	1~9
2017	5	17~ 18	当社工場内で、ゴマをすり潰す機械の点検作業中、誤って回転する機械に右示指と中指が巻き込まれてしまった。	56	10109	7	10~ 29
2017	5	17~ 18	バックルームにおいて玉子台の後片付け中、台車に載せる時に手が滑ってしまい指の上に玉子台を載せてしまった。	52	80209	4	100 ~ 299
2017	5	11~ 12	清掃作業中、回転釜に頭を挟まれ、頸部を圧迫された。救出後に脈微弱で呼吸も浅いため、心臓マッサージを行った。災害発生原因についての詳細は現段階では不明であるが、同作業の状況を記録した防犯ビデオをあり、警察に提示済みである。	48	10109	7	30~ 49
2017	5	10~ 11	調理場の1階調理室内で、釜で調理した鶏肉と野菜のトマトソース煮を配缶する際、釜の蓋（重さ約7~8kg）が突然閉まり、頭部及び左腕に当たった。左腕が腫れるとともに痺れが出た。	20	10109	7	10~ 29

2017	5	9～ 10	製造室内で、高所にある空調機吹出口の調整ノズルを回す為、その真下にあった製造機によじ登り、機械ごと左に倒れて右足指を骨折した。	39	10104	1	100 ～ 299
2017	5	20～ 21	店内厨房にて、コールドテーブルの上に置いてある卓上フライヤーの掃除をしようとして、フライヤーのバーを上げようとして手が滑り油の中に加熱棒が落ち、入っていた油がはね、火傷（右顔面、左目上部、右腕全体、右脇腹）を負ってしまった。	19	140201	11	10～ 29
2017	5	15～ 16	飲食店の厨房で食材の肉を切る作業中に、ミートスライサーの刃に思わず手が当たってしまい、手のひらを切った。	42	140201	8	1～9
2017	5	2～3	所属店舗厨房内でフライヤーに肉を投入した際、右手小指の先端がフライヤーの油の中に入ってしまった。びっくりして慌てた際に油を跳ね上げてしまい、右手の手の甲から腕にかけて火傷を負った。	28	140201	11	1～9
2017	5	6～7	作業所にてエアプレス機を使用し、豆腐を圧押しするするためエアプレス機の下降レバーを下げ、下降させた時に誤ってプレス板と豆腐押し板の間に指を挟み、左第二指を受傷した。	53	10109	7	1～9
2017	5	6～7	製麺室で複合機の圧延ロールの隅に付着した麺のカスを取るため、タオルを使い圧延ロールを拭き上げる作業をしていた。この作業は本来機械を完全停止した後に行うことになっていたが、時間を短縮しようとして、機械を停止させずに作業したためタオルと共に左手をロールに巻き込まれた。	29	10109	7	50～ 99
2017	5	15～ 16	冷凍魚の加工中、持っていた魚の節が滑り、機械の先丸に右親指を当てて怪我をした。	29	10102	8	10～ 29
2017	5	15～ 16	工場内にて冷凍魚の加工作業中に先丸の機械で誤って怪我をした。	29	170101	8	30～ 49
2017	5	10～	工場内作業中、グリーンアップという機械でローラー回転部の下に茶葉が落ちるので、落ちた茶葉を掃除していた時、回転部は危	36	10109	7	1～9



		11	険なので手を出さないよう注意していたが、回転部にある茶葉を取ろうとして指を入れ挟まれた。					
2017	5	10～ 11	だし用鰹節原料処理の粉碎工程にて、削り節を粉碎機上部のホッパーに投入作業中、ホッパー内部で原料の詰りが発生し、機械が稼働した状態で怪我防止用網枠を開け手を入れた時、送りスクリューフイダーに左手中指の先を挟み込まれてしまった。	59	10102	7	—	
2017	5	9～ 10	ゼリー充填機運転中、ゼリー容器の冷却装置に右手人差し指を挟まれ指先を負傷した。	48	10104	7	1～9	
2017	5	8～9	派遣先工場内にて、太巻きカット器のメンテナンス中に電源を切断せず行ったため、手を入れた時に機器が動いてしまい、右手人差し指第一関節を切傷した。	31	170101	8	50～ 99	
2017	5	16～ 17	工場内にて、グラインダーで4つ割りのマグロを、右手で頭を持ち、左手で尾を持ち、皮を削る作業をしていた。マグロを前後させて削っていたとき、頭の骨がグラインダーの刃に引っ張られ、右手甲を裂創した。	48	10102	8	30～ 49	
2017	5	16～ 17	工場内にて、グラインダーで4つ割りのマグロを、右手で頭を持ち、左手で尾を持ち、皮を削る作業をしていた。マグロを前後させて削っていたとき、頭の骨がグラインダーの刃に引っ張られ、右手甲を裂創した。	48	170101	8	1～9	
2017	5	20～ 21	1F蒸麺室で歩行中、蒸麺機内の煮沸洗浄に使用した高温の排水が左足首にかかり火傷した。	19	10109	11	300 ～ 499	
2017	5	10～ 11	高速包装機でタルトケーキを包装する時に刃部に手を入れてしまい、右手人差し指と中指の第一関節中央から切断した。	52	10104	8	10～ 29	
2017	5	14～ 15	工場のネタ場において、練り機にて生地をつくり、容器から出す作業をしている際にボタン操作を誤り、容器の蓋が開いている状態でミキシング（羽根）部位が起動した為、左手を巻き込まれ負	20	10104	7	100 ～ 299	

			傷した。練り機（紛体混合機）容器30?程。				
2017	5	15～ 16	食パンをスライスしていて、パンがスライサーの刃の奥側にずれたので電源を切り、パンを手前に戻そうとしたところ、刃に右手 中指甲側が触れてしまい切傷した。	68	80209	8	10～ 29
2017	5	10～ 11	きなこ充填室で、充填機を掃除している時、機械が作動中に止 まっていると思い手を入れた。急いで手を抜いたが、人差し指が 機械に接触して損傷した。	50	10104	8	10～ 29
2017	5	11～ 12	当工場内のポン菓子製造所において、ポン菓子形成切断機で作業 中、切断機の回転刃周辺に付着した菓子くずを取り除こうとして 回転を止めずに手を入れてしまい、右手中指を負傷した。	40	10104	8	10～ 29
2017	5	16～ 17	2人用摘採機で収穫した生葉を製茶工場内の生葉自動コンテナへ投 入時に足場を踏み外し、手に持っていた収茶袋と共に約1.5m下の コンテナ内に転落し、コンテナの出口部分にある搔き落とし装置 に袋ごと右腕が巻き込まれ、右前腕を開放骨折した。	55	60101	1	1～9
2017	5	15～ 16	自社工場で餃子を製造中に、麺ローラーから流れ出る材料の麺が 切れたため成形機に麺をセットすることが出来ず、誤って機械の 奥に指先を入れてしまい、機械の刃で左手指先を負傷する。	45	10109	8	50～ 99
2017	5	3～4	作業台上で使用するパンスライサー(丸刃回転)で、バケット(フラン スパン)に切り込みを入れる作業中、右手親指を10針縫う切創 を負った。本人によると、スライサーの中に手を入れた際に機械 に手が当たったとのことだったが、ビデオで検証したところ、機 械にパンを入れる時に中に手が入ったのではなく、切り終えたパ ンを左手でバット(箱)に置こうとした時に右手が不注意な状態 になり、中に手が入っている様に見えた。	58	10109	8	100 ～ 299
2017	5	18～ 19	工場内で製造用機械の洗浄後の組立時にステンレス製のカバーを 装着する際に手を滑らせて、カバーの端で左手の親指と人差し指 の間を5針縫う切傷を負った。	34	170101	8	50～ 99

2017	5	12～ 13	本社工場にて、タルト生地をのばすパイローラーにて作業中、ローラー部付近に付着した生地を除けようとパイローラー左側より、ローラー部に手を差し伸べていたところ、誤ってローラー稼働用の足踏みペダルを踏んでしまい、自身の左手（第1～3指）をローラーに挟み込み負傷した。	20	80209	7	10～ 29
2017	5	12～ 13	おからを外のタンクに搬送するための機械（ロータリーフィーダー）にて、ビニールに入っているおからを機械で廃棄している際に誤ってビニールを落としてしまい、ビニールを取ろうとして機械とおから受け器に指を入れ、右手中指先端約1cmを切断してしまった。	37	10109	7	50～ 99
2017	5	10～ 11	充填室で茶碗蒸しを製造している時、トップフィルムを押える棒でフィルムが既定位置よりずれていた為、ズレを直す為にフィルムに手を掛け調整していたが、目を離れた際にフィルムと一緒に手が持って行かれ、棒とバケットの間に入ってしまった。	31	10102	7	30～ 49
2017	5	13～ 14	調理場にてパンスライサーを使用中、パン押し板を使用し忘れたため、回転している刃に右手中指が当たり負傷した。	25	140201	8	10～ 29
2017	5	10～ 11	工場内で厚焼焼成機の洗浄後、焼成鍋の中をタオルで拭く作業中に、掻き混ぜ装置受け板の角度がついた箇所で作業し機械が動いた際に、早く作業を終わらせようと決められた場所から少しずつ上流に移動し、作業禁止エリアで鍋拭きを行い、角度と鍋の間に手を挟み、右手の指先を被災した。	21	10109	7	100 ～ 299
2017	5	8～9	工場にて、パン生地を成型する一つのラインになっている機械（メーキャップライン）でパン生地を薄く伸ばす作業中に、生地の成型時（カット）に不良品に気を取られ、取り除こうとして手を入れてしまい、左手中指、薬指を切断した。	57	10104	8	30～ 49
2017	5	11～ 12	工場内で製造を行っている際に、そばが切刃に引っ掛かっているのを取り除こうと機械を止めずに指を入れ、切断された。	33	10102	8	100 ～ 299

2017	6	14~ 15	生麺製造工場にて、縦型ミキサーを使い麺生地のみキシング作業を行っていた際に、機械の停止スイッチを押した後に完全停止を視認する前に下部排出口を開け、生地を掻き出すために手を入れたため、ミキサー内部の部品に巻き込まれ、左手中指を三針縫う怪我を負った。	24	10109	7	30~ 49
2017	6	11~ 12	当社は水産物の卸小売・加工業を営んでいる。当日は会社1階の生処理加工室でサンマ・アジ・イワシ処理機の搬送ベルトにイワシをセットして並べる作業中、並べ間違えたイワシの向きを変えるため、頭と尾を切る丸刃が回転しているBOX内に手を入れてしまい、丸刃に右手中指が触れて切れてしまった。	53	80109	8	30~ 49
2017	6	8~9	精肉作業場において、豚肉のスライサー作業中に、左手人差し指が機械に巻き込まれて切傷した。通常、指が入らないようにセッティングされているが、この日はその装置が外れていたため、指が巻き込まれてしまった。	42	80209	7	50~ 99
2017	6	13~ 14	仕込室にてクッキー生地の混合中に、2工程前の混合時に、回転式パンチングメタルの小麦粉ふるい機が粉詰まりを起こした為、状況を確認しようとしてスイッチを切り、排出ノズルを取り外し、詰まり具合を確認しようとしてホース内に手を入れたところ、パンチングメタルがまだ回転していて、接触して巻き込まれた。	57	10104	7	100 ~ 299
2017	6	17~ 18	店舗内の製麺機に、誤って手を入れてしまい負傷した。	20	140201	7	10~ 29
2017	6	21~ 22	店舗内キッチンにて、ハムスライサーを扱っている際、電源が入ったまま清掃を行ったため、スライサーの刃で右手小指を切創した。	18	140201	8	300 ~ 499
2017	6	15~ 16	店内製麺室にて製麺機を使用して製麺中、麺体を伸ばすローラーに指2本（右手中指と薬指）を挟み込んでしまった。原因は、麺体を右手で追いかけてしまったため、また、出来るだけ右手の指先は使わない様にしていたが、咄嗟に使ってしまったためであ	21	140201	7	1~9

			る。				
2017	6	9～ 10	給食室内で玉ねぎをみじんぎりにする為、裁断機を使った作業中に、裁断機の手前に付いていた玉ねぎの一片を取ろうとした時、手を滑らせてカッターに触れ、中指爪の1cm×1cm・深さ2mm程度と、薬指の爪がめくれ、挫創した。	50	80209	8	10～ 29
2017	6	10～ 11	製麺室にて、店舗用のうどんを製麺機でカットする作業に従事している際、ローラーに麺が真っ直ぐ入らず、ずれてしまったのを修正しようと手を添えた時に、ローラーに左手指先端を巻き込み受傷してしまった。	47	140201	7	10～ 29
2017	6	17～ 18	店舗内厨房において、ドーナツ生地を捏ねている作業時に、ボールに卵を入れるためヘラで卵を払ったところ、ビーターが来てしまいミキサーとビーターに右手甲を挟まれて負傷した。	20	10104	7	1～9
2017	6	10～ 11	就業場所（派遣先）で、作業設備の片付け清掃時に（自動運転中）、ヘラが落下した際、咄嗟にヘラを取ろうと手を伸ばし、機械に巻き込まれた。	66	170101	7	—
2017	6	10～ 11	就業場所（派遣先）で、作業設備の片付け清掃時に（自動運転中）、ヘラが落下した際、咄嗟にヘラを取ろうと手を伸ばし、機械に巻き込まれた。	66	10101	7	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	事業所内にて、肉の筋きり器を掃除していた際、指を挟んでしまい抜けなくなり、右手の人差し指と中指の指先を骨折した。	47	140201	7	1～9
2017	6	16～ 17	派遣先水産加工会社工場にて、グラインダー作業中に誤って手が滑り、左手の薬指と小指を切傷した。（血合い取り作業中、トンボマグロだったため油が多くて滑った。）	40	10102	8	10～ 29
2017	6	16～ 17	加工場にてグラインダー作業中、誤って手が滑り、左手の薬指と小指を切傷した。（血合い取り作業中、トンボマグロだったため油が多くて滑った。）	40	170101	8	50～ 99
			店舗厨房内で、器具の洗浄作業中に、トマトスライサーを洗うよ				

2017	6	18～ 19	う言われて、刃先に誤って触れてしまい、右手中指と人差し指の爪の部分を受傷した。	75	140201	8	30～ 49
2017	6	16～ 17	工場内において製麺作業中、自動玉取り機のオペレーターをしていたところ、ラインに付着した埃に気づき、本来であればラインを停止して除去するところを、誤ってラインを停止せずに除去しようとした為、機械の刃に右手中指が触れ負傷したものである。	37	10109	8	10～ 29
2017	6	16～ 17	工場内にて生産中に、裁断機第二カッター下のスプロケット（歯車）に挟まった揉み海苔片を機械停止せずに手で取り除こうとし、右手中指爪の付け根を駆動中のスプロケットとローラーチェーンに挟まれ裂傷、切断した。	59	10102	7	100 ～ 299
2017	6	13～ 14	当社工場内において、掃除の為に、自動茹麺玉取機から内部にあるキャップを外す作業をする時に、キャップが外れない為、機械の電源が入ったままキャップの中心の穴に指を入れて取ろうとしたところ、差し入れた左手中指先端を7.5mm程欠損した。	42	10109	7	10～ 29
2017	6	3～4	工場製造Bラインにおいて、たまご焼サンドを製造中、丸刃スライサーに詰まったパンを取り除こうとした際、パンの耳を落とす刃に指が触れ切ったものである。	48	10109	8	300 ～ 499
2017	6	14～ 15	工場内でスライサーにキャベツを投入している時に、スライサーにキャベツが詰まり、手で押し込んだところ、手を奥まで入れすぎてスライサーの刃に手が当たり、指を切ってしまった。	74	10109	8	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	野菜裁断機できゅうりを切った後、上部のベルトに付着していたきゅうりのくずを取り除こうとしていたところ、スイッチが入ったまま上部ベルトに手を置いてしまい、指先が裁断機の中に入ってしまった。	44	120109	8	30～ 49
2017	6	20～ 21	作業場で、スライサーの清掃をする際、鉄のグローブをしていなかったため、左手親指付け根にスライサーの刃が当たり裂傷を負った。	18	80201	8	300 ～ 499

2017	6	16～ 17	当社作業所において、冷凍マグロの加工で、当て板を当てて6cmにブックカットしている時に、400S機の刃に指が触れ、事故が起きてしまった。	21	10102	8	30～ 49
2017	6	20～ 21	作業場でスライサー洗浄中、細部の肉片を取ろうとして、細部の作業は金属手袋着用では出来ないため素手で行ったところ、スライサーの刃で右手親指に裂傷を負った。	18	80201	8	100～ 299
2017	6	9～ 10	派遣先工場内で、液体が充填されたゼリーカップをライン機械から取り外す作業をしていた時、取り外せずに流れてしまったゼリーカップを追いかけて取ろうとし、機械に左手人差し指を巻き込まれてしまった。なお、派遣先からの注意・指揮・指導はなされていた上で、危険ラインを超え手を伸ばし負傷したものである。	48	170101	7	10～ 29
2017	6	20～ 21	店舗厨房にて、細巻きロボのローラーを外していた時、電源を切っていなかった為、誤ってカッターが作動し、右手人差し指を裂傷した。	16	140201	7	50～ 99
2017	6	22～ 23	コンベアを清掃するため、魚加工機に取り付けてあるショート部分の下に潜り込んで作業をし、立ち上がる際、ショート部分の角に誤って頭をぶつけ負傷した。	65	150101	3	500～ 999
2017	6	9～ 10	当社の味噌等製造工場内において、蒸した米・糀等を攪拌機（以下、「機械」と言う）により攪拌し終わったので、それらを他に移し、後仕事として機械の出口付近に不着した糀等の残りを左手により掻き出していた。その際、他の職員が被害者の作業を十分に確認することなく機械の回転レバーを作動させた為、左手の指3本が機械の回転羽根と接触し、負傷した。	64	10109	7	1～9
2017	6	16～ 17	本社工場内で、わらびもちの裁断作業中、左手中指がカッター一部分に触れて、第一関節と爪の間を骨まで切断した。	19	10104	8	30～ 49
			本社工場内にて、当社製品のそば製麺機（高さ1810mm、幅883mm、奥行き575mm、重さ170kg）を移動中、検査室入口の段差でバ				100

2017	6	16～ 17	ランスを崩し、機械が転倒した際、重さを支えきれず、そば製麺機の下敷きになり受傷した。両足をそば製麺機で挟み、両腕を床に打ちつけ、打撲を負った。	46	11301	6	～ 299
2017	6	14～ 15	工場内でチェリー豆に砂糖を絡める作業中、ヘラでミキサー内壁にこびりついた砂糖を取っている時、軍手の手を入れる口（右手）がミキサーの中心の軸のボルト部分に引っかかり、右手首を巻き込まれ、右手首切創と骨折、及び右手親指の神経断裂をした。	60	10104	7	10～ 29
2017	6	9～ 10	工場内でプレッシャーミキサー稼働中に、ミキサーの蓋についた生地をヘラで落としていたところ、ヘラをミキサー内へ落としてしまった。ミキサー停止ボタンを押してヘラを取ろうとしたところ、まだ動いていて右親指を負傷した。ミキサー内にはカステラ生地が入っており、停止したかどうか目視では確認できなかった。	21	10104	7	30～ 49
2017	6	18～ 19	弊社第一工場内の作業台で、スライサーの清掃作業中に手が滑り、右手薬指第一関節から第二関節部分と、中指第一関節から第二関節部分に、スライサーの刃が当たり切創した。	31	10101	8	50～ 99
2017	6	9～ 10	自社加工場内で、外部より裁断（カット）依頼された冷凍鮪を小型帯鋸盤（バンドソー）を使い、約10cm間隔にカットする作業をしていた時に誤って滑ってしまい、右手人差し指を負傷してしまった。発生当時、安全防具のメッシュ手袋を着用していなかった。また、外部のお客様に早く作業するよう急かされて焦ってしまった。	37	10102	8	50～ 99
2017	6	13～ 14	加工場内で、整形機を使い冷凍鯉の削り作業中、誤って整形刃に接触してしまい、右手前腕部を負傷してしまった。安全防具のステンレスメッシュ手袋は着用していた。	35	10102	8	50～ 99
			生麺室内で麺帯巻き取り作業中、複合機上部のフェンダーが作動				



2017	7	9~10	<p>していたが、フェンダー内に残存生地があったので複合機へ落とし込むため、フェンダースイッチを切らず左手でカバーを押さえ右手で残存生地を落としてする最中に、回転してきた羽根に右手指2本が挟まれた。 ※アクリル板カバーにリミットSW無（現状取り付けできないためとして）</p>	38	10109	7	30~ 49
2017	7	13~14	<p>脱毛ラインにて、清掃中不要物除去のため、ライン作業終了を待たず、ライン稼働中に、スタナー電極ガイドとシャックルの間に左手を挟まれた。</p>	25	10101	7	50~ 99
2017	7	8~9	<p>圧搾室2Fで諸味充填前準備をしているとき、諸味をのせるステンレスの板にワイヤーを引っ掛けるためその板を仮置きさせる金具（4ヶ所）を出し忘れ、板の重みと勢いで落下した。</p>	56	10109	1	10~ 29
2017	7	8~9	<p>作業場内で棚を移動している時に棚が倒れて指を挟んだ。</p>	66	140101	8	1000 ~ 9999
2017	7	18~19	<p>工事において、リチャージウェル撤去段取り作業中、定規鉄板を設置したのち、1.5?の水タンクを吊るために吊具を装着したままクレーンを6m移動した。被災者は、玉掛のために水タンクの位置に移動した。クレーン移動完了後、子フックを下げた時に、吊具が子フックから外れて落下し、被災者の右腕及び右手にぶつかった。</p>	56	80209	8	10~ 29
2017	7	16~17	<p>作業場で製麺機を使用して麺を試作中、麺切断用カッター（一定間隔で回転する）のスイッチが入った状態で麺の残りカスを除去しようとしてカッター周辺に手を入れたところ、カッターが回転して右手中指、薬指、小指がカッターと板の間に挟まった。</p>	39	170209	7	10~ 29
2017	7	14~15	<p>研究所一階作業エリアで製麺機の性能テストを実施中に高速で回転する圧延機のロールに麺帯を手で送り込む作業の際に麺帯が手にかみつけた状態となり麺帯と一緒に左手が圧延機のローラーに巻き込まれ負傷した。研究用のもの。本来はコンベアを設置し</p>	55	120109	7	100 ~

			て、麺を自動搬送なものであるが、災害発生時は、当該コンベアを外し、改良作業をしている際に発生した。					299
2017	7	9~10	事務所内給食室において、フードカッターで野菜をカットしている際に、不注意でカッターの刃に指が当たり、誤って右手人差し指と中指を切創してしまった。	23	80209	8		10~ 29
2017	7	22~23	生食加工室にてハムスライサー加工中に原料（カタロース焼豚）を追加するため機械を止め上から原料を追加している時に手を滑らせてしまい刃の部分に当たり左手親指の付け根を2cm程削いでしまう。	28	10109	8		300 ~ 499
2017	7	11~12	調理場で、合成調理機で人参を千切りにする時に、人参を持ったまま機械に投入してしまい、回転する刃部に右示指が当たってしまった。	41	130101	8		100 ~ 299
2017	7	8~9	麺を製造している時に、第1ローラーの下に製品が溜まり、下から出そうと体を第1ローラーと第2ローラーの間に入れた際、右肩の服が、第2ローラーのシャフトのボルトに引っ掛かり、そのまま捲かれ、右腕がシャフトの下に挟まった。服を切るまで10分くらい圧迫され上半身のあちこちに内出血が見られ、数カ所切り傷があった。	69	10109	7		1~9
2017	7	14~15	当社工場内において、包餡機を使用し餅菓子を製造していたところ、ベルトレール部に小さな不良品があったため、除去しようとした際、機械を作動させたまま左手を奥に入れてしまい、包餡機可動部に左手先が当たり、中指先を負傷した。	58	10104	7		30~ 49
2017	7	7~8	きのこ培地のビンに穴を開ける機械で（台座をモーターで上下させ16本のビンが入ったコンテナを持ち上げて穴を開けていく）台座が一番上に持ち上げられた状態で止まってしまい、下げるためにモーターブレーキを解除し台座を上から押した。その時に台座とフレームの間に足先が入っていたため挟まれ負傷した。	65	10109	7		50~ 99

2017	7	5~6	どらやきの生地を焼くため、機械へ生地をながしていたところ、ネジの締めが不十分だったため、部品（バー）がはずれてしまった。それを直そうとしたところ、まだ機械が静止する直前だったため、指が巻き込まれてしまいバーの圧力が指にかかり、左人差し指が裂傷、骨にヒビが入り、左中指先内出血となった。	26	80209	7	30~ 49
2017	7	11~12	精肉作業場にてスライサーの清掃作業をしていた時に、右手が刃のある方向に滑ってしまい、刃の部分に接触し中指の爪半分と皮膚の部分を削いでしまった。	58	80201	8	100 ~ 299
2017	7	11~12	加熱調理室にて、脱水機の洗浄をする際、水を流す蛇口があり扉を開けた際に避けきれず、機械とポールの間で足を挟み左足の太腿付近に打撲と裂傷を負った。	60	10109	7	100 ~ 299
2017	7	9~10	工場においてフードスライサーを使用してキャベツのスライスを行い、次にタマネギのスライスをするために刃物の交換を行う際、ナットがなかなか緩まず、力を入れて試した際緩んだ瞬間、固定していた内側（刃側）のネジも同時に緩み、その反動で左手がスライサーの刃に接触し受傷した。	64	80109	8	30~ 49
2017	7	8~9	本社工場の加工場にて、成型機（先丸カッター）によるヒレカット作業中、機械上部に加工原料を置くため、加工原料を両手で持ち身体を機械に近づけた時、カッター部分が前掛けに接触することで巻き込まれてしまい、腹部右側上皮を約10cm×20cm範囲で損傷した。本来は、加工原料を機械上部に置くことは禁止された行為であった。又、本人の前掛けの着用の仕方が、きつくしっかりと前掛けのひもを縛っておらず、前掛けがダブっていたことも原因であった。	19	10102	8	10~ 29
2017	7	21~22	煮豆ホッパー洗浄作業中、ホッパー底部を洗浄するために、ホッパー本体を下部台車より外そうとした際に右手首を捻って痛みが走った。痛みは酷くなかったため、作業継続可との自己判断（社員へ報告無し）にて、勤務を継続し、退勤した（実働5時間15	55	170101	19	300 ~ 499

			分)。翌日午後、右手首に痛みが残っていた。				
2017	7	22~23	たこ焼きの食品工場にてタコ投入機の洗浄作業中、本来機械を止めて持ち手のあるタワシを使用して洗浄すべきところを、機械を止めずに持ち手のないタワシで洗浄していたため、機械の回転軸とバーの間に左手中指が挟まれ受傷。	37	170101	7	500 ~ 999
2017	7	16~17	工場にて、全てのつき棒を止める作業をしていた時、つき棒が止まる位置まで上がらないためトモエ本体をOFFにして手動でつき棒を上げ、ウスとつき棒の間に鉄の棒を入れてストッパーが止まる位置まで上げて止めようとした際、つき棒が下に降りて鉄棒がはね上がり顔にぶつかった。	31	10109	6	100 ~ 299
2017	7	9~10	魚肉ミキサー機で魚肉をミンチにする際一旦機械をSTOPさせて、ミキサーが完全に止まる前に取り出そうと右手を入れて事故となった。	58	10102	7	1~9
2017	7	11~12	3階生麺室の中華生麺の生産開始時に複合機から出てきた麺帯を熟成庫のハンガーコンベアに乗っていることを確認しようと熟成庫に入らずれている麺帯を直そうとした際にチェーンとスプロケット部に制服の左そでを巻き込まれて左手親指のつけ根部分を被災した。	43	10109	7	100 ~ 299
2017	7	15~16	当該事業所において、漬物をペーストするためにミキサーを使用していた。セットする際に、スイッチがオンで入っていることに気付かず、刃の部分のみを先に台へセットした。刃をセットした瞬間ミキサーが回り始め、刃が右手指に当たり切創。	67	80209	8	10~ 29
2017	7	8~9	本社工場の、1階茹麺室中華そばラインにて、麺の切刃の交換作業をしている時、Aのスイッチを切った確認をせず、(Bの歯車が動いたまま)Cの切刃を持ってセットしてしまい、BとCの歯車に右手中指先を挟まれ、第一関節上裂傷骨折をしてしまった。本来ならAのスイッチを切って、歯車を停止を確認してから交換する手順だった。	23	10109	7	50~ 99

2017	7	8~9	コンベア上の桃の種取り作業時、次工程の蒸気による熱処理の機械入口よりもれでている蒸気で右手首付近をやけどした。種がとれていないものを機械入口付近で入らないように戻そうとしたため。	62	10103	11	30~ 49
2017	7	15~16	第3製造計量2ラインにおいて製品を計量・充填中に空袋が機械の間に数枚落ちたため、一旦停止した。作業員Aが作業員Bと落下原因について話し合っていた時に、被災者が空袋を取ろうと機械に体を入れた。その時に作業員Aが周囲を確認せず、寸動状態で機械の起動ボタンを押したため、機械が手前に下がりながら回転した。そのため、機械に体を入れていた被災者が機械の下の部分と下がってきたフタに挟まれて負傷した。	41	170101	7	50~ 99
2017	7	13~14	当社工場内において、被災者がパン用ミキサーの清掃作業を行っていた。ミキサー内部の生地を取り除く際にスクリューを手動で回していたところ、誤ってヘラをミキサー内部に落としたので、右手で取ろうとした。この時、回転途中のスクリューに手を挟まれ、右手小指擦過傷、右第4、5中手骨基部骨折の怪我を負った。	42	80209	7	10~ 29
2017	7	13~14	工場内で、エアシリンダー式突き機での製品（トコロテン）を突き出す作業中、製品に右手を添えたままスイッチを押したため中指がシリンダーとカバーに挟まり、切断された。	57	170101	7	1~9
2017	7	13~14	工場内で、エアシリンダー式突き機での製品（トコロテン）を突き出す作業中、製品に右手を添えたままスイッチを押したため中指がシリンダーとカバーに挟まり、切断された。	57	10109	7	10~ 29
2017	7	12~13	工場にて作業中、製品を包装する機械でフィルムの進みが悪かったため、手で進めていたところ、フィルムのカット機で左中指を挟み負傷した。	37	10109	7	30~ 49
2017	7	13~ 14	厨房内仕込場で手動のスライサーでキャベツの千切りをしている時、誤ってスライサーの刃に指があたり右手小指先端をスライサーで切傷した。	22	140201	8	10~ 29

2017	7	9~ 10	包装カット室にて、前準備の為、使用器具の確認をしていたところ、保管されていた玉子焼カット機の刃が上を向いていた為、向きを反対にしようとした際、誤って刃の部分を掴んでしまい切っ てしまった。	67	10109	8	50~ 99
2017	7	14~ 15	工場にてとうもろこしの皮むき作業中、皮むき機（ローラー）に 右手手袋中指の指先がとられてしまい、自分でとっさに引いた。 救急車が来るまで冷蔵庫の氷で冷やすと共に血液止めを行った。	67	10103	7	10~ 29
2017	7	3~4	店内の厨房にて調理する為のフライヤー清掃および油交換の為、 油のかすを受け皿に移していた時レジに客が来たので厨房を離れ ようとした際、油温度が十分に低下していなかった為、手足に油 が直に接触してしまい、火傷を負った。フライヤーの下の部分に ついている突起物に体をぶつけて体制を崩したことが原因であ る。	20	80209	11	10~ 29
2017	7	11~ 12	給茶機の茶葉詰まりを取るため茶葉の出入口部分に指を入れたと ころ茶葉のローラーが稼働して右手人差し指を切った。	27	140201	8	10~ 29
2017	7	15~ 16	当社のハンバーグを製造している成型機が故障したため、前日他 社より同じような成型機を借り受け、当社工場作業場でテストを しようと投入口から肉を入れて見たが排出口に肉が詰まり、うま く落ちてこなかった為その肉を取ろうと咄嗟にスイッチを切らず に右手をドラムの中の型に入れてしまい、右手薬指と小指の先端 を負傷した。	48	10101	8	30~ 49
2017	7	15~ 16	総菜作業場内で、カツ丼製造のため、業務用米飯成型機から米飯 を計り出す作業をしていたところ、誤って米飯成型機の下の部分 に指を入れてしまい、右手中指をローラーに挟み負傷した。	22	80209	7	100 ~ 299
2017	7	14~ 15	おにぎり成型室において、成型機の組立作業中に、機械の上に置 いた樹脂製の側面カバー（30cm×70cm×2.5cm、4kg程度）が滑り 落ちてしまい、右足先にぶつかって負傷した。	55	10109	4	100 ~ 299

2017	7	18～ 19	米飯蒸米工程で、焼豚詰まりトラブル発生時の復旧作業中、焼豚投入用傾斜スクリュウCY投入口にて、スクリュウが動いたまま手を入れて詰まりを除去したため、そのままスクリュウに指を巻き込まれ被災した。	48	10109	7	300 ～ 499
2017	7	18～ 19	畜産作業場にてスライサーの清掃作業中、肉片を取り除いた際に刃が右中指に当たり、負傷した。	16	80201	8	100 ～ 299
2017	7	15～ 16	農産加工室にてカボチャ用カッターの片付け作業中に、アルコールスプレーを吹きかけながら刃の部分を拭いていたところ、右手中指が触れてしまい切創した。	49	80209	8	100 ～ 299
2017	7	2～3	作業場にて玉ネギのカットをしていたところ、フードカッターで右手小指と薬指を切ってしまった。	62	80209	8	50～ 99
2017	7	11～ 12	当社営業所サービス施設厨房にて昼食調理中、食器等を洗っていた際にブレンダーを洗浄中に誤って、ブレンダーの電源スイッチをONにしてしまい、回転する刃で左人差し指と中指を負傷した。	57	130201	8	10～ 29
2017	7	18～ 19	作業中、採肉機で中おちの端材を引いているとき、話をしているよそ見をした瞬間に、右手が原料ごと機械に持っていかれ、右手肘まで機械の中に入ってしまった。安全教育済みであったが、原料を押し込める際にT字棒を使用していなかった。	22	10102	7	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	揚げもちの生地を切断する機械で、生地を切断加工中、機械の自動ラインの刃に誤って手を触れ、負傷した。	32	10109	8	1～9
2017	7	15～ 16	秋の作業が始まる前日、栗を圧して実を取り出す機械の準備にとりかかり、スイッチを入れて清掃していたとき、誤ってローラーに手を入れてしまい、指が切断された。被災者一人が部屋にいて機械を動かしていたため、他に目撃者もなく、本人もよく覚えていないということで詳しいことは分からないが、ローラーに巻き込まれて指を切断したものである。	45	10104	7	30～ 49

2017	7	13～ 14	会社工場作業所で、小腸切開洗浄機から出てくる牛の小腸を水で洗い、その小腸を袋詰めする作業をしようとしていたとき、機械に小腸が詰まり動かなかった。電源を止め、刃物に気づかずに詰まり物を取り除こうとし、誤って刃物が右手親指の下に当たり、切傷した。	45	10109	8	10～ 29
2017	7	12～ 13	工場内でアジの皮引きを行う際、ベルトにのせてアジフィレを流し、別の労働者が皮引き後のフィレ受け取りを行っていたときに、皮引きがうまくいかず行き詰まり、止まってしまった。行き詰まりを解消するために手を入れたときに戻って、巻き込み口に手が接触し、巻き込んだ手袋に引っ張られて、手を巻き込んでしまい、手の甲の皮が手首付近まで捻れた。	20	10102	7	30～ 49
2017	7	10～ 11	本部工場ティーバッグ製造部において、お茶のティーバッグ製造作業中、原料のお茶の重さを調整するため、計量升のつまみを動かしていたときに、すり切り可動部に右手薬指を挟み込み、指先から15mmの部分の部分を切ってしまった。	57	10109	7	30～ 49
2017	7	14～ 15	加工場にて冷凍鰹をグラインダーで整形中、メッシュ手袋着用を怠り、誤って左手親指を回転盤に接触させ、裂傷を負った。	30	170101	8	300 ～ 499
2017	7	14～ 15	冷凍鰹をグラインダーで整形中、メッシュ手袋着用を怠り、誤って左手親指を回転盤に接触させ裂傷を負った。一瞬のことで、本人もどうして接触したかは、定かでないとのことである。	30	10102	8	10～ 29
2017	7	13～ 14	店内キッチンにて、肉のスライサーのノブを締めようとしたとき、まだ完全に停止していなかった刃に誤って触れてしまい、左手示指を切傷し、5針縫合した。	21	140201	8	30～ 49
2017	7	17～ 18	事業場において、冷凍魚を切断中、誤って右手親指がバンドソーに触れてしまい、指を切ってしまった。	30	10102	8	10～ 29
			水産加工食品製造作業場内で、魚の尾切機で作業終了後、機械の				



2017	7	11～ 12	上に右手を乗せた状況でよそ見をしていたときに、作業が終了したにもかかわらず、電源をOFFにしていない状態だったので、手元が滑り、右手人差し指が機械の刃の部分に入り、切断（約7～10mm）する災害が発生した。	37	10109	8	30～ 49
2017	7	10～ 11	えびせんべい製造工場内で、製造中のせんべいに味付する機械が急に止まってしまったため、ベルトの動きを手で助けつつ、機械の調子を見ていたとき、ベルトに巻き込まれて、右手中指を負傷した。	63	10104	7	1～9
2017	7	7～8	パン生地をローラー機械に流しているとき、手に粉を付けるため、機械奥にある粉入れ容器に手を入れようとしたが、手前にある機械(ローラー) に手を入れ負傷した。当時、粉入れ容器の置き場所が変更されていた。	40	80209	7	1～9
2017	7	16～ 17	厨房の作業台で、調理に使用したハンドミキサーを洗浄しようとして刃を外すときに、手袋をはめたままで作業をした際、手にミキサーにかけた食品が付いており、ハンドミキサーを持っていた手が滑り、その時にハンドミキサーのスイッチに手が触れ、カッターが回り、右手人差し指に触れ切創した（10針縫合）。	66	10109	8	1～9
2017	7	5～6	出来上がった麺を並べる作業中に、包装機に挟まった麺を取ろうとして、スイッチを切らずにそこへ手を入れてしまったため、機械に挟まれて手を負傷した。	63	10109	7	1～9
2017	7	14～ 15	焼きそばのミキサー作業において、ミキサーの清掃作業を行っていたとき、生地が奥に残っていたため、蓋を閉めて寸動ボタンを押した。その後、そのまま蓋を開けたところ、機械は止まったが惰性で回っているピンとミキサー壁面に入れた右手を挟まれた。	41	10109	7	100 ～ 299
2017	7	14～ 15	焼きそばのミキサー作業において、ミキサーの清掃作業を行っていたとき、生地が奥に残っていたため、蓋を閉めて寸動ボタンを押した。そのまま蓋を開けたところ、機械は止まったが惰性で回っているところに手を入れてしまった。	51	170101	8	100 ～ 299

2017	7	15～ 16	被災者は、ミンチ作業終了後、通常通り電源を落とし、ミートチョッパーを分解して亀の子タワシでこすり洗いしていた。機械本体上部のスクリューを洗っているときに、機械本体とスクリューの隙間に右手小指が入ったため、慌てて引き抜いたところ、スクリューの縁で小指上部を裂傷した。	31	10102	7	300 ～ 499
2017	7	21～ 22	店内厨房でクローズ作業中、そばの押し出し製麺機を清掃していたとき、手順を誤ったまま清掃を行ってしまい、指を挟んで怪我をした。	19	140201	7	10～ 29
2017	7	8～9	工場内で若布裁断機を作動させ、若布を1mm幅に裁断する作業中、停止ボタンを使わずに安全カバーを外した。安全カバーが外れたことにより機械が完全にストップするのを待たず、刃がまだ惰性で動いている間に、ローラー周りの裁断くずを取ろうと手を伸ばした際、刃に指が当たり、左手薬指先を傷つけた。	42	80109	8	1～9
2017	7	17～ 18	惣菜工場にて、しゃり攪拌機の洗浄作業のため、内部に手を入れたとき、止めたつもりスイッチが切れていなかったため、右腕が巻きこまれ、攪拌する棒が右手の平と甲に刺さって負傷した。	60	10109	7	50～ 99
2017	7	13～ 14	骨付きもも肉を機械に掛ける作業中、機械の奥に骨が詰まったので、手を入れて取り除こうとした。本来機械の異常が見つかった場合には、社員を呼ぶか、機械を止めることがルールで決められていたが、生産性を重視する雰囲気の中、機械を停止することができず、さらに防刃手袋を着用している左手ではなく、右手を入れてしまったため、刃部分が手の甲に触れ、腱を断裂することとなった。	62	10101	7	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	骨付きもも肉を機械に掛ける作業中、機械の奥に骨が詰まったので、手を入れて取り除こうとした。本来機械の異常が見つかった場合には、社員を呼ぶか、機械を止めることがルールで決められていたが、生産性を重視する雰囲気の中、機械を停止することができず、さらに防刃手袋を着用している左手ではなく、右手を入	62	170101	7	500 ～ 999

			れてしまったので、刃部分が手の甲に触れ、腱を断裂することとなった。				
2017	7	10～11	海苔の攪拌機（縦270mm、横500mm、高さ80mm、重さ230kg）の組み立て作業をしていた。架台（縦2700mm、横500mm、高さ200mm、重さ180kg）に取り付けた軸（直径50mm、高さ70mm）、受主軸（直径80mm、高さ70mm）と減速機（縦300mm、横300mm、高さ500mm、重さ50kg）出力軸をはめ込む際に、減速機を吊り、バンドで縛り、ホイスト（クレーン）で吊り上げ、キーの位置を合わせたあと、軸が少し入るまで、手元スイッチでホイストを下げて減速機を降ろし、軸が真っ直ぐになったときに減速機を降ろしたところ、スペンサーパイプ（直径34mm、高さ100mm）に左手を置いていたため、左手薬指を挟んで骨折した。	70	11301	7	1～9
2017	7	16～17	工場内において、バンドソーという切断機を用いて鶏の解体作業をしていたとき、誤って右手の人差し指をバンドソーの刃に当ててしまい、負傷した。	69	10101	8	1～9
2017	7	8～9	パイナップルを円型筒状に割り貫く機械にて、パインを掴んで固定する金属のアームと、アームを水平に一時固定する金属のストッパーに右手を巻き込まれ、中指と薬指を挟んだ。	47	10106	7	—
2017	9	18～19	工場にて、キャラメル製造機のちねり機という機械での作業中に、指を挟まれ出血・腫れの症状で夜間病院にかかる。ちねり機とは、キャラメルをねじ切り、それを包装紙で包む機械になっている。包装されたキャラメルをスタッフが指で落とさなければいけないのだが、その指で落とす工程の中で、機械の爪に手袋が挟まり指が巻き込まれる。	25	170101	7	100～299
2017	9	18～19	被災者は、キャラメル製造機のちねり機から包装されたキャラメルを落とす作業中に指が挟まれ受傷した。	25	10104	7	50～99
			被災者は、レトルトコーン製造ラインの掃除、後片付けをしていた。とうきびを袋に詰めていくライン上の、ステンレス製の板				

2017	9	11~ 12	(120cm×20cm、重さ1.5kg位) が洗い終わって置かれていたのを、収納する為、別のテーブルの上にまとめておこうとした。板を製造ラインから外し長い辺の一方をゴム手袋をはいた、片方の手の指で挟んで持ち、もう一方の長い辺を、別の手でかかえるように下から持とうとしたところ、板の表面の水滴で手から滑って板が被災者の胸元付近から垂直に落下。長靴の上から左足の指に長い辺が当たり、負傷した。	56	10103	4	50~ 99
2017	9	15~ 16	畜産作業場で、スライサーの清掃のため部品を引き出そうとした際、手が滑り、左側にあった刃に接触して左手中指の爪を切った。	59	80201	8	500 ~ 999
2017	9	10~ 11	当社工場で乾燥した昆布の両端を専用機で裁断しているときに、誤って左人差し指を負傷した。	22	10102	8	10~ 29
2017	9	13~ 14	当日は、フレッシュ若芽カット作業を行っていた。午後の作業開始直後、裁断していた若芽が刃の部分に詰まったため、安全カバーを右手で持ち上げて電源を切り、設備をOFFにして左手で詰まりを取り除こうとした。刃がすぐに止まらないことを注意しないで手を刃の部分に入れてしまい、まだ止まっていない刃に、左手指が切断された。	38	10102	7	30~ 49
2017	9	9~ 10	学校給食室で、おかずの具材であるごぼうを、野菜裁断機で切り終え、停止ボタンを押してから、左手で刃の部分にたまった皮を除こうとして、野菜投入口に差し入れたが、刃の回転は完全には停止しておらず、左手人差し指及び中指の爪の部分を負傷した。	59	10101	8	30~ 49
2017	9	11~ 12	業務用フードスライダーの刃を清掃するため分解作業中、力を入れた際すべて刃物に接触したため、左手小指が切傷となった。	21	10109	8	30~ 49
2017	9	9~ 10	カニカマ用の真空パックを平らにする（延ばしの状態にする）ために、圧縮ベルト（上下にゴム製ローラがあるその間に真空パックを挿入する）に、右手で真空パックを挿入設定していたが、設	48	10102	7	10~ 29

			定の調整の際にスイッチを一時停止にしないまま行った為、右手が圧縮ベルトに挟まれてしまい負傷したものの。				
2017	9	10～ 11	サービス付高齢者向け住宅の調理場で、ブレンダーを使用して食品を細かく切る作業をしていた。その際、ブレンダーの刃に挟まったりんごを取り除くため刃の部分に指を入れたが、同時にスイッチが入り刃が回転してしまい指を負傷した。	75	130309	7	10～ 29
2017	9	16～ 17	厨房に於いて、キャベツスライサーを使用中右手が滑り、右手中指が入ってしまい先端部を切傷した。	38	140201	8	10～ 29
2017	9	10～ 11	十勝バタースティック生産中、整形室にてツイスター下部のベルトに付着した生地を取り除こうとした際、軍手をして除去していたところ、除去しきれなかった生地を追いかけてテンションローラーに近づき、テンションローラー上部の隙間に軍手の先が入り、そのまま腕まで巻き込まれたものである。	24	10104	7	500 ～ 999
2017	9	13～ 14	工場のパイ製造室でパイローラーを清掃中に、機械に清掃用タオルが巻きこまれ、それと一緒に左腕も巻きこまれた。	31	10104	7	10～ 29
2017	9	16～ 17	会社施設内第2工場清掃作業中、バケットコンベアの汚れを拭こうとした際、汚れている位置が高く手の届く範囲ではなかったため、その場でジャンプし、ダスターで瞬間的に汚れを拭き取ろうとしたところ、バケットコンベアのカバー部分に右手薬指と小指の間を強打し、着用していたゴム手袋も切れ、裂傷した。本来であれば踏み台を利用して作業することになっていたが、汚れ部分が小さかったため、踏み台を用意する時間を短縮しようという本人判断があった。	60	10101	3	50～ 99
2017	9	9～ 10	上記日時、社命により、工場内1階作業場にて肉を切る機械を操作していたところ、肉を固定するレバーのツメ（刃）から肉を外す際にツメ（刃）に接触し、右手薬指の表皮を約4センチほど切り、負傷したものである。	61	10101	8	10～ 29
			職場で、作動中のミキサーのふたを開け、ふちについているしぼ				

2017	9	8~9	りかすを中へ戻そうとしたときに、右手中指が回転しているミキサーの刃に触れ、切傷した。	21	140209	7	10~ 29
2017	9	10~ 11	第一工場クリーム分離中にクリームを一時ストックするタンクがあるが、そのタンク（10kg程度）を分解する為取り外す際、手からすべり落ち右足の親指に落下し出血、骨折した。	53	10101	4	100 ~ 299
2017	9	9~ 10	裁断機でサラダの野菜を切り終えた後に次の野菜を切るため、野菜くずをきれいにしようと、裁断機を動かしながらでないトレールの上の野菜くずがきれいにならないため、動かしながら水をかけてきれいにしていた。しかし、大きな野菜くずが裁断機のすき間に入っていたので、水では取れなく、誤って手を入れてしまい、左手の人差し指を切創した。	38	10109	8	1~9
2017	9	14~ 15	工場内で天板からドーナツを抜く工程で、抜き専用台に当てドーナツを抜く際、天板と抜き台に指を挟んでしまった。その後、指は痛かったが自然に治ると思い数日仕事をしていたが、段々と腫れてきた為、病院へ行った。	60	170101	7	100 ~ 299
2017	9	14~ 15	工場洋菓子3課フィナンシェラインにおいて、焼きあがったドーナツを天板から抜く作業を行っていたところ、天板と抜き台に右手薬指を挟んでしまった。その後、痛みはあったが自然に治ると思い数日仕事を続けたが、腫れがひどくなったため、病院を受診した。	60	10104	7	1000 ~ 9999
2017	9	11~ 12	工場内製造ラインにおいて、工場内に設置されている自動充填機（アイスクリームをカップに詰める機械）の洗浄作業中に充填ノズルのゆるみを発見した。ノズル（アイスクリームが出る筒状の物）は、クリームシャッターと言いアイスクリームを高速で開閉しアイスクリームを出したり止めたりする部分に接続されている。ノズルのゆるみを直そうとし、誤ってノズルを外してしまったのでクリームシャッターをつなぎ直そうとしたところ指先が	27	10101	8	10~ 29

			シャッターの開閉部分に入ってしまった、指先を切断した。本来このような作業は、絶対に機械を止めてやるべき作業だが止めずに行ったことが原因である、左手中指の第一関節の約半分を切断した。					
2017	9	14~ 15	会社惣菜室にて、フードスライサーの洗浄作業後、フードスライサーの接続してあった注水ホースを抜こうとしてホースを左手で引っ張り、勢いあまって停止している刃に左手が当たり負傷した。（刃部を洗浄したため、フードスライサーの刃物ボックスが開放したままとなっていた）	23	10109	8		50~ 99
2017	9	9~ 10	当社工場内にて、乾麺製造作業中、原料の入れ替えの為、製麺用攪拌機の清掃をしている際、内部の枠と回転器具との間に手を挟んでしまい負傷した。	61	10109	7		1~9
2017	9	16~ 17	当社工場内において、千切り機で牛蒡をカットする作業中に誤って左人差し指が機械の刃に触れてしまい負傷した。	27	10109	8		10~ 29
2017	9	1~2	工場内で包装機のベルトが機械の不具合でとまってしまった。ベルトを引っ張れば動くと思い、ベルトローラー部付近に手を入れ、他の作業者がスイッチを押して稼動状態にして、ベルトを引っ張るつもりだったが、予想以上にベルトの回転がはやく、ベルトとローラー部に指を挟まれ負傷した。（本来故障しているベルトとは違うベルトをさわっていた。またカバーはついており、開けると機械は止まる構造になっているが、カバーのすき間に手を入れていた。）	36	10104	7		300 ~ 499
2017	9	7~8	右の製麺機において?の部分がローラーになっており不注意で左手が挟まり、左手を取ろうとして右手も挟まった状況である。	64	10109	7		1~9
2017	9	22~ 23	調理場の冷麺場所で清掃時、冷麺釜の熱湯を本人の不注意により、冷麺キャップに付着する麺をふやかそうと、熱湯をかけた時に熱湯が飛び散り、その熱湯が足にかかり火傷した。	18	140201	11		30~ 49
			店内キッチンにて、スライサーで肉のカット作業中、電源を落と					

2017	9	14～ 15	した後、回転が止まる前に刃に触れてしまい、右手拇指付近を切傷した。	15	140201	8	30～ 49
2017	9	9～ 10	畜産作業場でのミンチの加工の時に、ミートチョッパーの本体の詰まりを通常専用の棒を使う所急いでいた為、手で押し込み指の先が引き込まれた。	26	80209	7	100 ～ 299
2017	9	21～ 22	店舗内の製麺室において作業中、製麺機が除菌中に不注意でカッターの部分に左手を入れてしまい負傷した。	38	140201	8	1～9
2017	9	13～ 14	工場作業中製品袋詰めを自動包装機①操縦者担当②印字袋等の管理担当の2名で作業、印字確認の際、キカイ内に腕を入れる為必ずキカイは停止、キカイ内は袋を取りあげるアームが円板状8セットあり回転、この確認中①が動かしてしまい②の腕にアームが回転しながら腕を引っ張るようあたり損傷。翌日腕に違和感を感じ病院にて受診、様子をみながら仕事をきていたが、その後痛みが増し検査の結果、腕を動かさないようギプスで固定となり、仕事を休業となる。	59	10109	7	10～ 29
2017	9	21～ 22	グリーストラップの掃除中にグリーストラップ内に落ちてしまい、左スネを打ってしまった。	41	140201	1	10～ 29
2017	9	16～ 17	おにぎり成型機の稼働中、詰まりが発生したため、咄嗟に手を入れてしまい、動いている機械に指を挟んで負傷した。	20	10109	7	300 ～ 499
2017	9	7～8	下処理室でフードスライサーの刃を取り替える為にスパナを使用し、二枚刃を取りはずそうとした時にいつもより硬く力をいれているうちに刃に親指があたり負傷した。	29	140209	8	10～ 29
2017	9	15～ 16	食品工場の製造、下処理現場にて、ベルトコンベアーで野菜の下処理を行っているとき、野菜がベルトコンベアーの刃に詰まった、その野菜を取り除こうとして、電源を切らずにベルトコンベアーに指を入れてしまい、左手中指を切断した。	63	10103	8	50～ 99



2017	9	11~ 12	ポコットチーズ包装機の台紙装置の動きが悪く、設備保全担当である作業員と2名で修理作業をしていた、装置の確認をするため、駆動部カバーを外していた、途中、作業員Aが別の装置の機械の調子が悪いと呼ばれ、その場を離れた、作業員Bは、トイレへ行き、戻ってきてから作業を再開したが、それよりも早くに作業員Aが走ってきており、包装機の下に滑って作業していた、作業員Bは、作業員Aの存在に気付かず、スタートボタンを押してしまったため、作業員Aの右手人差し指の先端が駆動部のチェーンに挟まり、裂傷したものである。	25	10103	7	500 ~ 999
2017	9	10~ 11	野菜をカットする仕込場で機械でキャベツをスライサーに通している時、本来は野菜を押す道具で押しているがキャベツの量が少なくなり、押す板では進まなくなり、手を入れ指を2本切った。	41	170209	8	300 ~ 499
2017	9	10~ 11	製麺工場内、製麺ラインの製麺作業中にプロペラのついた機械を作動させたまま作業を行った為（練りあがった、そばろ状の物を掻き集める）右手中指・薬指を負傷した。	49	10109	8	10~ 29
2017	9	8~9	工場内で、こんにゃくを裁断する機械の清掃を行っていた際、エアを切り忘れた状態でセンサーに水をかけてしまったため、機械が動き出してしまい、右手薬指を挟んだものである。	30	10109	8	10~ 29
2017	9	10~ 11	麺線作業中にローラーに手をはさまれた。	62	140201	7	10~ 29
2017	9	16~ 17	第1工場第四作業室味付4ラインにおいて作業終了後、機械を停止せず海苔集積ローラー下部をスタンダード（清掃用布）で清掃中、スタンダードと共に左手を駆動チェーンに巻き込まれ負傷した。	27	10102	7	300 ~ 499
2017	9	7~8	天ぷらの機械のギアを入れるときに刃の下に手を置いていたのに、刃にはさまって右手の親指の先がつぶれた。	45	10102	7	30~ 49
2017	9	3~4	洗浄してあったミンチ機の部品を取り付ける作業をしている時に手がすべり、その部品が左足親指上に落下、被災した。（左足親	37	10109	6	1~9

			指骨折)					
2017	9	13~ 14	解体室で、ガラ落下装置を調整中に、ガラ落下装置のガイドが落下しないように、手で支えていたら、鶏の首を掛けるシャックルがガイドに引っかかって流れ、シャックルが元に戻ろうとして負荷がかかりその反動でシャックルが外れて、左手人差し指付け根をシャックルとガラ落下装置のガイドで挟み込んだ。	56	10101	7	100 ~ 299	
2017	10	12~ 13	店のパンスライサーの置いている作業場で、フランスパンのスライサーでスライスしていた際、右手でフランスパンを押さえて前方向にスライドさせた時、回転している刃に右手親指先端が接触し、切創した。	34	80209	8	10~ 29	
2017	10	8~9	当社作業場にて、玉ねぎの選別作業の莖葉処理機部分で莖葉と根を取る作業中、6本の棒状のローラーが動いている中、莖葉を取り除こうとしたところ、不注意で手袋がローラーに挟まり手も巻き込まれてしまった。	26	60101	7	1~9	
2017	10	10~ 11	食材をミキサーへかける際、電源を入れたままミキサーの刃の部分を回転器具へ連結したため、刃の部分をロックする際、手で触れた時にミキサーの刃が回転し両親指を負傷してしまった。電源を入れていたのを忘れていた事が主な原因である。	59	80209	8	10~ 29	
2017	10	10~ 11	工場内の攪拌作業前にて、攪拌電源を作動したまま攪拌機の中に付着していた水滴を拭こうとして誤って手を入れた為、右手を負傷。	64	10102	7	10~ 29	
2017	10	14~ 15	この事故は当社工場2F冷凍餃子急冷室において、野菜のフードカッターの刃を、スポンジを使用して洗浄していたところ、手が滑り誤って刃に触れてしまい、左手中指を切ってしまった事故。	49	10109	8	100 ~ 299	
2017	10	10~ 11	切り竿の製品包装の開始時に、ピロー包装機を調整しながら、出口側より包装機の中に、手を入れ包装フィルムを引っ張り出そうとしていた。その際、左手人差し指第一関節にカッター部分が触	51	10109	8	100 ~ 299	

			れ負傷した。				
2017	10	14～ 15	生産終了後の中間掃除時、スライサーを別の場所に移動しようとスライサーの向きを変えようとした時に、グレーチング部分にキャスターが引っ掛かりスライサーが倒れ、その拍子に転倒して足首を捻り被災した。	46	170101	5	50～ 99
2017	10	14～ 15	生産終了後の中間掃除時、スライサーを別の場所に移動しようとスライサーの向きを変えようとした時に、グレーチング部分にキャスターが引っ掛かりスライサーが倒れ、その拍子に転倒して足首を捻り被災した。	46	10109	5	300 ～ 499
2017	10	8～9	工場内で、冷凍スライサーでの作業を終えた際、機械が完全に停止する前に触れ、右手を負傷した。	34	10101	7	30～ 49
2017	10	11～ 12	切身室の鶏肉ぶつ切り用スライサーで作業をしていた際に、ぶつ切りの残渣を捨てようとスライサー誘導バーの上で動作を行い、誤って刃に接触し、右手親指の一部を欠損した。	67	10101	8	100 ～ 299
2017	10	9～ 10	店内作業場で挽肉作業をしている時に、挽肉機械を停止せず機械内の肉を押し入れようとして、右手指を入れ切断した。押し棒あり（ミンチ機、チョパー）機械入れ替え予定→新しい機械設置は未設置。	63	80201	7	1～9
2017	10	11～ 12	バンドライン棒延し機（棒生地製造）で、しん粉（だんご）を成形（延期運転）作業中、しん粉がコンベアのしん粉カッターに引っ掛かった。カバーを開けしん粉を出口側へ押し出そうとした際、インターロックを自ら押下し解除してしまった。これによりカッターが動き出してしまった。右手、手の平親指付け根から数センチの裂傷、及び神経切断。	21	10104	8	100 ～ 299
			仕込工程で生産終了後の清掃作業に送液ギヤポンプ付きのタンクをお湯洗いしていた。通常通りの回数洗いを入れお湯を抜いたが、タンク内に残渣が出ており、残渣をタオルで拭き取ろうとした結果、タンク内のギヤポンプにタオルを巻き込んでしまった。				50～

2017	10	1～2	巻き込まれたタオルが破損し、ギヤポンプ内にタオルの破損片が残り、慌てて破損片を取り除こうとギヤポンプに手を出してしまい、左手中指の第一関節から上部分を挟まれてしまい、損傷した。	49	170101	7	99
2017	10	8～9	当社工場内でフローズンカッターを使用し食肉の粉、砕加工作業中、カッター手前に残った肉片を右手で取り除こうとした際に、誤って回転中の刀に右示指を当ててしまい切創。「カッター周辺に残った材料や異物等を除去する際には、必ず機械を停止してから行う」旨を作業標準として定め、且つ当該関連の安全教育も常々実施していたにもかかわらず、それを無視して作業を行ってしまったことが当該主原因。当時は手袋も着用していたが、無効だった。	33	10109	8	100 ～ 299
2017	10	14～15	チョコレートの溶解タンクにチョコレート粒を投入後、チョコレートの溶け具合を確認中、溶解タンクの中の回転中のバー上にチョコレート粒が落ちずに残っていることに気付き、左手に持ったマイナスドライバーでチョコレート粒を下に落とそうとした際、バーが回転している状態で行った為、バーと溶解タンクの周囲の間に左手が巻き込まれ、負傷した。	65	170101	7	50～ 99
2017	10	14～15	チョコレートの溶解タンクに、原料のチョコレートの粒をボウルに入れながら作業をしていたら、チョコレート溶解タンクの回転バーの上にチョコレートの粒が残っていた為、回転しているバーに左手でマイナスドライバーを持ち、落とそうとしたら、チョコレート溶解タンクのバーと溶解タンクの周囲に左手が巻き込まれてしまった。	65	10104	7	30～ 49
2017	10	22～23	ダクワーズ2号ラインの薬自動投入機の不具合があり、機械の稼働を停止し調整を行った。その後機械停止を解除したところ、別の作業者が調整が終了したと思い、稼働スイッチを押したが、それに気付かず、調整のため機械に指を近づけたところ、挟まれて指	43	10104	7	100 ～ 299

			を損傷した。				
2017	10	14～ 15	当社工場内にて、円柱状（直径50cm・長さ200cm）の回転式毛取り器に、原料（山菜）を投入していたとき、投入口からこぼれた原料を取り除こうとしたところ、回転体の駆動部分に右示指が触れ、そのまま挟まれてしまい受傷した。	21	10109	7	50～ 99
2017	10	14～ 15	解体室にて、丸鶏をバンドソーにて8分割に切る作業をしている時、切った肉片を袋詰用の準備カゴに入れる時、誤って右手小指をバンドソーの刃に引っ掛けてしまい負傷した。安全対策として金網状の手袋をしていたため、幅1cm、厚さ数ミリ程度の負傷ですんだ。	71	10101	8	50～ 99
2017	10	10～ 11	キッチン内の大根おろし機にて、大根おろしの作業中、大根の破片が機械に詰まってしまい止まってしまった。うっかり電源を切らずに、破片を取り除こうとして機械に手を差し入れてしまい、機械が動き出して指を負傷した。	44	140201	8	10～ 29
2017	10	21～ 22	店舗厨房にて、軍艦のきゅうりをスライサーで作成している際に、誤って右手人差し指を切ってしまった。	18	140201	8	50～ 99
2017	10	9～ 10	加熱調理部署内、野菜処理室に於いて、ねぎスライサーの機械を使ってねぎカットの作業中、差込口にねぎの皮がつかえていた為、それを取り除く為に右手を差込口に入れてとろうとした時、誤って中指の先端がスライサーの刃に触れてしまい、指先を切ってしまった。	62	10109	8	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	厨房内の作業場で切り込み作業中、フードプロセッサーで使用方法の誤りにより左中指を負傷した。※使用方法 正) スイッチをoffにする→完全に止まってからカバーを外す→中にある刻んだ野菜を取り出す。誤) スイッチをoffにした時に、完全に止まる前にカバーを外した為に中のディスク刃で左中指を負傷。	48	130201	7	50～ 99
		16～	精肉作業場にてスライサーの掃除を行っている時、安全カバーを				100

2017	10	17	せずに刃を拭いていた為、手が脂で滑って刃に触れてしまい、右手中指切創、伸筋腱断裂。	43	80201	8	～ 299
2017	10	8～9	パン工房厨房にて、パン生地を平たく伸ばす作業をモルダーという機械を使って行っていた。機械に投入した生地にゴミの付着を確認し取り除こうと手を差し出したところ、機械に右手第3、4、5指を巻き込まれてしまい右手第3、4、5末節骨の骨折、同じく右手第3、4、5指の腹部分を裂傷してしまう。原因としては、不注意で生地投入口から右手を入れてしまった事と、機械に緊急停止装置がなかった事、また安全管理運用マニュアルが当設備になかった事があげられる。	37	130201	7	1～9
2017	10	18～ 19	味付のざらめ掛けの作業で、ざらめが出て来る穴が詰まっていた、直そうとした時に、機械を止めずに穴に指を突っ込んでスクリュューに指先を巻き込まれたもの。	30	10104	7	300 ～ 499
2017	10	7～8	学校給食センター厨房内で、スライサーでしいたけをスライスしていて、終了後ホースで水をかけて汚れを落としていた。汚れが落ちにくかったので手で表面をこすっていたところ、スライサーの刃で左手の中指薬指の爪を削いでしまった。	48	80209	8	10～ 29
2017	10	10～ 11	給食室で、刃が回転する裁断機を使って玉ねぎをカットしていた際、手を奥まで入れすぎ、刃が指に当たった。	37	80209	8	1～9
2017	10	14～ 15	当社工場で作業中、製麺作業終了直前の複合機に流す生地を手で均していた際、異物を発見し、それを取り除こうと手を入れたところ、複合機に生地を押し込む機械を停止しなかったため、押し込み機に右手人差し指を挟み負傷したもの。	28	10109	7	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	店舗厨房内、スイーツ用ソースをなめらかにするための機械「ブレンダー」を使用しているときに機械の刃部分に異変を感じたため確認しようとしたが、刃の回転が完全に停止しておらず、歯に触れてしまい、切傷を負った。	21	80209	8	10～ 29
			調理室で調理中にキャベツを切ろうとし、投入口にコンベア、出				

2017	10	9～ 10	口に回転カッターが付いたフードカッターにキャベツを入れようとしたが、コンベア内になかなか入らず、電源が入ったまま、右手で強く押しこんだ。その結果、キャベツと共に勢い余って右手をコンベアの中に入れてしまい、動いていた回転カッターによって中指の先を切断した。	30	120109	8	30～ 49
2017	10	11～ 12	当社作業所において、小鋸機A-16を使用して冷凍マグロの血合い部分をカットしている際に、出たカスを手で払おうとしてうっかり刃に触れ、左手親指を切った。	27	10102	8	30～ 49
2017	10	15～ 16	本社3Fの調理室でスライサーを使って食パンの耳を切りおとしているとき、後ろで人の気配を感じて振りむいた。気づいたらスライサーの歯に左手人指し指があたり切れた。	49	10104	8	30～ 49
2017	10	17～ 18	ハンドソーで肉のカット作業中、肉を押さえていた手が滑り、ハンドソーの刃に左手中指を接触させ負傷した。	20	170101	8	100 ～ 299
2017	10	17～ 18	ハンドソーで肉のカット作業中、肉を押さえていた手が滑り、ハンドソーの刃に左手中指を接触させ負傷した。	20	10101	8	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	生地棟1階乾燥場10号生地乾燥機稼働中に異常音があり、不具合を治そうとテンション調整部分のボルトをスパナで回すため、Vベルトカバーに左手を着いたところ、軍手がVベルトに巻き込まれ、左手を負傷した。	52	10104	7	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	校内給食室で、ゆでキャベツを調理するため、キャベツを裁断機で裁断していた。裁断中に、キャベツがつまり、調整しようと左手を入れたところ、左示指を裁断機の歯で切った。	31	120109	8	30～ 49
2017	10	23～ 24	惣菜加工場内にて、電源スイッチを切らずにシャリクーラー機の洗浄を行っていた。シャリほぐしの回転歯車の部分に右手手袋が引っかかって巻き込まれ、中指・薬指・甲を裂傷した。	46	10109	7	100 ～ 299

2017	10	9~ 10	クリーンルームでキャベツのスライサーを使って作業をしていたところ、スライサーが止まったので、本来は電源を切るべきところを忘れてしまった。その際、右手をスライサーに入れた時に動いた刃物に右手中指が触れて切創し、4針の縫合治療を受けた。	51	10103	8	50~ 99
2017	10	9~ 10	工場内の調理麺室への入口で、コンテナ（約30cm×50cm）を持ち、両手がふさがった状態で、急いでいたのでスイングドアを左肩で押して開けようと勢いよく押したところ左肩を脱臼した。	23	10109	1	50~ 99
2017	10	10~ 11	調理室で裁断機を使用して人参を切っている時、スイッチを止めて裁断機の中に入っていた切れ端を取り除こうと左手を入れた。刃が完全に止まっていなくて中指を切った。	58	80209	8	1~9
2017	10	15~ 16	うどん場にて、電源を切って製麺機のベルトを交換していた。交換中にローラとベルトの間に右手の指先を挟んだ。	31	80209	7	10~ 29
2017	10	12~ 13	手打ちうどんの厨房にて、うどんカッター（切断機）を使用し、麺の切断作業終了後、機械のスイッチを手で切ったと思い麺の取り出し作業に移ったが、実際には機械は止まっておらず、その際に奥まで指が入り、右手の人差し指の第1関節の先より切断。	45	140201	8	1~9
2017	11	15~ 16	タルト生地をプレス機にて成型中、生地の原料が飛び散っていたため清掃しようと思いプレス機の電源スイッチを切って手を入れたところ、機械が止まったと思い込み挟まれ被災した。	30	170101	7	1~9
2017	11	15~ 16	被災者は工場にて、タルト生地をプレス機で成型中、生地の原料が飛び散っていたため掃除しようと思いプレス機の電源スイッチを切って手を入れたところ、機械が止まっておらず、右手を挟まれ受傷したものである。	30	10101	7	100 ~ 299
2017	11	13~ 14	そば粉をミキサーで混ぜる作業を行い、ミキサーのL字型に開く蓋を開けた時に強く開けた為に、跳ね返って閉まり、指を挟んだ。	23	10109	7	1~9
2017	11	9~ 10	出向中、長ネギをカットする業務用機械（ミドルネギ-OHC-50）で作業中、無意識の内に右手で安全装置を外し、左手中指を回転	49	80209	8	1~9



			する刃の中に入れてしまい、左手中指を負傷してしまいました。					
2017	11	10～ 11	セール準備の最中、農産作業室でかぼちゃのスライスカットをしている時、商品が滑って左親指の腹から爪をかぼちゃカッターで切った。すぐ病院に行ったが4針縫う怪我であった。専用の手袋を使用しておらず、商品が滑って誤って切ってしまったとの事で、マニュアルの作業を行っていないことから発生した。	30	80209	8	100 ～ 299	
2017	11	17～ 18	3F洋食厨房にて、スライサーを使ってパンを切る作業をしていたところ、誤って右手親指を切ってしまった。	48	140101	8	100 ～ 299	
2017	11	13～ 14	店舗厨房内にて、オペレーション中に排水溝グレーチングの上で足を滑らせてしまった。体勢を整えようと右手で掴んだ先がフライヤーだった為、右手の肘まで熱した油の中に入ってしまった。直ぐに抜け出したが、その際はねた油で左手、顔にも油がかかり火傷を負った。	50	140201	11	1～9	
2017	11	23～ 24	工場にて、切り餅の切断工程にて切り餅を切断する機械の洗浄作業中。通常機械内部の洗浄作業をする際は、手を入れず専用のブラシで外部から水で流しながら作業をするところ、無意識に手を入れてしまい刃を押さえた為、手のひらを受傷した。	44	170101	8	100 ～ 299	
2017	11	11～ 12	被災労働者は、当社工場内にて、野菜カット作業中、ホウレン草をラインに流していたところ、ホウレン草が大量に流れたためカッターの所で詰まってしまい、それを取り除くため左手をカッター付近に入れたところ、機械の停止スイッチを押していなかったため、カッターが動き、誤って左手中指を受傷したものである。	27	10103	7	10～ 29	
2017	11	13～ 14	工場にて、がんもの成形機でがんも種を造る作業中、誤って成形機の回転している型に指を挟み、右手示指の末節から先を切創した。	49	10109	7	100 ～ 299	
			工場1階のユニフォーム仕上げ場で作業中、畳まれた製品を出荷台					

2017	11	11～ 12	車に積み込む際、慌てて、ロットの仕切りに使用する布に乗ってしまい、足を滑らせ転倒した。転倒した時に右足首を捻ってしまった。	49	10103	8	10～ 29
2017	11	16～ 17	荷受けと事務所の間のスイングドアからカートラックを持って売場方面へ向かう際、スイングドアの反動で転倒し左足を挟んで左足小指側側面を骨折した。	24	10109	8	1～9
2017	11	10～ 11	現場法面の立木をチェーンソーで切り倒すために、途中まで切り目を入れたところで倒れても安全な場所に移動しようとした時に足を滑らせた。その傍に切株があり、それに腕・脇をぶつけた。その際、チェーンソーのエンジンは切っていた。	64	10104	19	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	駐車場内にてトラックの荷台よりパワーゲートを使用してカーゴの搬出を行っていたところ、勾配のある場所にて作業を行ったためストッパーを外した途端に勢いがついてカーゴが下がって来たため、左足で止めたところ、負傷したものである。	20	10103	8	1～9
2017	11	4～5	別館1F炊飯加熱室内の炊飯2号機における釜の洗浄機の反転機（前倒れ式）に蓋が引っ掛かった状態となっていた為、当該蓋を取り除いたことにより、止まっていた回転部が動き出し、左手中指の先が挟まれたことにより受傷した。	30	10109	7	500 ～ 999
2017	11	23～ 24	生食加工室にて卓上スライサーで加工中に、機械内の肉が動いた為機械を止めないで手を入れた。その時に指が刃に触れ、右手指3本の中程を合わせて6cm程切ってしまう。	61	10109	8	300 ～ 499
2017	11	9～ 10	被災者は中学校給食室にて、給食調理のためにニンジン을切っていた。野菜カッターを使用し、左手でニンジンをカッターにかけ、右手で次のニンジンを取ろうとした。その際に、左手がカッターの奥まで入り込み、左手第2指、第3指がカッターの刃に巻き込まれて、負傷した。	38	10109	8	1～9
			原料（チョコレート）の計量作業中、原料が不足し、前工程（原				100

2017	11	13～ 14	料を細断する工程) で原料を補充しようとしていた。その際、装置内の原料も掻き出そうと安全カバー内に右手を進入させたところ、刃で指を切創した。	41	170101	7	～ 299
2017	11	13～ 14	ガナッシュ (チョコレート) を切断機を使用しカットしている時に、安全ガードを越えて手を出してしまったことにより、切断機に指を切られてしまった。	41	10104	7	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	白菜の裁断機にて裁断後の白菜を回収する作業をしていた際、排出口が白菜で山になっていたため、取り除こうとしたところ、機械内部の刃に接触し、右手の3指を切断した。	67	10109	8	10～ 29
2017	11	17～ 18	厨房内にて閉店作業中、そば打ち機器のコンプレッサー (空圧) による上下動する圧縮板を停止させ作業をしていたが、不注意でONのスイッチに触れ機器が作動してしまい、右手中指が機器の間に挟まれ指先を6針縫う負傷をした。負傷後は救急車で病院へ搬送された。	46	80209	7	10～ 29
2017	11	10～ 11	本社工場内、包装機の不具合調整中、包装機の製品ガイドの調整を運転中に行い、すぐ下の回転式カッター刃に指先が接触し、損傷を負った。	38	10109	8	30～ 49
2017	11	11～ 12	工場内餃子成形機械で、餃子の具をニンニクの入ったものからニンニクなしに切替する為、機械のホッパー (餃子の入っている容器) の底コック部分 (1コ分の量を押し出す部分) に指を入れ餃子の具を取り除いている時、他の従業員が成形機の可動ボタンを押した為 (声かけはしたが聞こえていなかった) 指先が巻き込まれ、右手中指先端5mm程切断した。	41	10109	7	100 ～ 299
2017	11	21～ 22	焼きおにぎりライン6号成型機にて、成型機のカップ部に付着した米を取り除こうと、成型機カバーの安全装置 (近接センサー) のパスワードを入力した。安全装置を解除し、成型機を動かしたままカップ部に手を近づけてしまった為、ロックアウトのカップ部分とプレートとの間で指を挟み負傷した。	44	170101	7	500 ～ 999

2017	11	21～ 22	焼きおにぎりライン6号成型機にて、成型機のカップ部に付着した米を取り除く時に、ロックアウト部に成型機を動かしたまま米を取り除こうとした。成型機カバーには安全装置（近接センサー）が付いている為、パスワードを入力し安全装置を解除した。成型機を動かしたままカップ部に手を近づけてしまった為、ロックアウトのカップ部分とプレートとの間で指を挟み負傷した。	44	10109	7	300 ～ 499
2017	11	6～7	朝一の拭き掃除の際、右手でダスターを持ち拭いていた時、右手肘から手の先がローラーに巻き込まれた。	62	10109	7	10～ 29
2017	11	20～ 21	キッチン内のフライヤーの前で調理作業中、バランスを崩し、右手及び右腕をフライヤーの中につけてしまった。	17	140201	11	30～ 49
2017	11	3～4	作業場で洋菓子をオーブンで焼いている時、オーブンプレートを取り出す時に誤って手に当たり、左手首と右手人差し指に火傷を負った。	34	10104	11	500 ～ 999
2017	11	15～ 16	お店で、ストック用の食パンを切るため、1本切り終えてスイッチを切り、残っているパンの耳を取ろうとしたところ、まだ完全に止まっていない刃に指が当たり切ってしまった。人差し指は3針、中指は1針縫った。	51	80209	8	10～ 29
2017	11	10～ 11	工場1階でアイスクリーム充填機が動いている時に、注ぎ口付近をダスターで拭き掃除しようとしたら機械に挟まって、人差し指が創傷し骨折した。	44	10104	7	50～ 99
2017	11	10～ 11	厨房作業場で電動ネギカッターでネギカット中、ネギの挿入口に左手第3指を規定よりも奥に入れ過ぎ、中指先端を斜めに約1cm程切断する。	46	130201	8	30～ 49
2017	11	9～ 10	本社工場内において、スライサーでキャベツをスライスする作業中、マニュアルでは野菜がスライサーに挟まっても、スライサーの動作中は取り除いてはいけないことになっていたが、スライサーが動作中にも関わらず、挟まったキャベツを取り除こうとし	21	10104	7	—

			てしまった。その際スライサーの刃が左手中指に触れてしまい、左手中指の末節骨を開放骨折した。				
2017	11	13～ 14	工場でミキサーのビーターを装着して、クッキーを練っている際手を入れて巻き込まれた。そして中指と薬指の間を深さ1cm位、長さ5cm位切れてしまった。	48	80209	8	10～ 29
2017	11	11～ 12	当社脱甲工場内で、カニの甲羅を外す作業中、脱甲機のレーンにカニが流れて来るのを待っている時、動いている脱甲機のレーンの上に右手を置いてしまい、右手親指先を機械に巻き込んでしまった。出血も少なく、痛みもなかったのしばらく様子を見ていたが、右手全体が腫れてきたので病院へ行った。	20	10102	7	50～ 99
2017	11	16～ 17	工場1階作業場で、昆布の切断作業をしている時、昆布と一緒に右 手人差し指から小指までを、切断機に巻き込まれた。事故原因は、昆布切断機の回転刃を覆っている安全装置のカバーを外し、又自動停止スイッチをオフにしていたためと考えられる。	47	10102	7	10～ 29
2017	11	10～ 11	厨房にて、患者様の昼食準備の為、刃が自動で回転する野菜調理機にて大根をいちょう切りにカットしていた。短くなると、ストッパーでのカットは型が崩れてしまう為、ストッパーを上げ、手に持ちカットしていた。思った以上に短くなっていた為、左第2指の肉を削ぎ落とす。専門的な治療が必要だった為、整形外科を受診する。	46	130101	8	300 ～ 499
2017	11	4～5	工場内にてぶつ切り機を使用し、鳥肉を切っていた際、回転しているぶつ切り機の突起しているボルトに誤って、左腕が当たり負傷した。	78	80109	7	10～ 29
2017	11	19～ 20	スライサーを清掃中に、誤って刃を動かしたまま洗ってしまい、手を切った。	47	80209	8	30～ 49
2017	11	11～	下処理室のフードスライサーで、二枚刃を使い山芋を3×3mmに切っている時にフードスライサーを停止しようと、停止ボタンを押し、まだ完全に二枚刃の回転が停止していない状態で安全カ	38	80209	8	50～

		12	バーを開け山芋を押し出そうと手を入れ回っていた二枚刃に、右手の第2、3指が当たり負傷してしまった。					99
2017	11	14～ 15	店内奥にて食パンをスライサーで切り袋に詰める作業中、普段ならば切り終えたパンが回転中の刃より遠い下の位置で受け取るところを、急いでいた為、慌てて刃の近い位置で取り出し、左手人差し指、中指が接触してしまい先端一部を切創してしまった。	20	80209	7		50～ 99
2017	11	8～9	生産加工部の部内で穴子のきざみを作成中きざみに使う機械に穴子を投入し、上から押し込んだ際押し込み過ぎて、右手人差し指の爪の裏あたりを骨折した。	45	80209	7		100 ～ 299
2017	11	16～ 17	当社加工センター工場内で、裏漉し器の電源を切った状態で、容器の底に残った焼き芋を手で奥に押し込んだ時、無意識に電源スイッチを押してしまったため、右手の中指が裏漉し器のスクリュューに巻き込まれ、指先を切断した。	30	10103	7		30～ 49
2017	11	8～9	低温加工処理室において、冷凍鰹の血合い取り作業中に、整形機械の先丸型カッターに触れ右手親指第1部位の皮膚が剥離し出血した。当日は、朝から70kgの冷凍鰹の整形、血合い取り作業であったが、雌節焼玉を押し込んで引く際に雌節の内臓跡部分に亀裂が入り、その反動で先丸刃に傷病部位も接触し皮膚が剥離し出血するに至った。	32	10102	8		30～ 49
2017	12	12～13	厨房において仕込み作業中、肉筋切器具を破損させた従業員が、それを直してほしいと店長である被災者に申し出たが、破損はこれがはじめてではないため、自分で直すよう指示した。再度直すのを手伝ってほしいと申し出た従業員に対し、一人でやるようにと答えたところ、なぜ直してくれないのかと腹を立てた従業員が被災者の胸ぐらをつかみ、押し問答となった際に身体がフライヤー（揚物機）にぶつかり、中の油が腕と背中にかかりやけどを負った。	30	140209	11		30～ 49

2017	12	17~18	被災者は、製品の切り替え作業時に、カッター機内にある生地のカット重量を感知するローラー部分が回転していないことに気づいた。そのため、機械を停止せずにカッター上部のアクリルカーバーを開け、左手でローラー部分を押し回転させようとした。その際、ローラー部分に重量がかかり、カッターが作動し、刃が下りてきて被災した。	19	10104	8	1000 ~ 9999
2017	12	13~14	作業室でスキナーを使い、右手と左手で豚頭を押さえ、頭の皮ムキをしていた時、誤って右手小指の外側の皮をはいだ。	65	10101	8	50~ 99
2017	12	20~21	店舗厨房内において、調理作業中にチキンの入ったバスケットを、クッカー内に掛けようとしたが、掛かっておらずに油の中にバスケットが落下し、跳ねた油が右前腕と右頬上部にかかり熱傷を負った。	18	140201	11	1~9
2017	12	9~10	せんべいの製造工場内でバターせんべい焼成器の漏斗状の部分に生地を流し込み、残り少なくなった生地を集めたときに奥まで手が入ってしまい、スクリュウに右手首から右尺骨を挟まれた。	44	10104	7	10~ 29
2017	12	13~14	店内作業台で、ローストビーフのスライス作業中、肉をおさえて切っていたところ、誤って指を滑らせて、スライサーで右手人差し指を切り受傷した。	35	140201	8	10~ 29
2017	12	11~12	休憩中に営業用の蒸し器の扉に手袋が挟まっていることに気づき、手袋を取りながら蒸し器の扉を開けてしまい左腕に受傷した。	19	80209	11	50~ 99
2017	12	14~15	当社工場内にて、機械で牛テールを切っていた際、誤って左手中指の先を切ってしまった。	30	80109	8	10~ 29
2017	12	16~17	製麺室でコンベアから流れてきた生麺を番重に並べる作業中に、麺切り出し機から出てくる麺線が片寄ることに気づき、本来は機械を停止してから担当OPが修正するルールであったが、安全カバーを越えて左手を入れて麺線を修正しようとしてしまい、その際に切刃と接触し、右手人差し指に長さ20mm×深さ5mmの裂傷を	21	10109	8	300 ~ 499

			負ってしまった。				
2017	12	16~17	製麺室でコンベアから流れてきた生麺を番重に並べる作業中に、麺切出機から出てくる麺線が片寄ることに気づき、安全カバーから手を入れて麺線を修正しようとしたとき切刃に接触し、左示指先に長さ20mm、深さ5mm程の挫創を負った。	21	10109	8	50~ 99
2017	12	11~12	手打ち風製麺機にて、そば麺帯を自動包丁にて切断中、誤って右親指を切断した。	69	80209	8	1~9
2017	12	17~18	製造盛付ラインで、成型機の舍利詰まりを直すためにカバーを外し舍利を取り除いていたところ、舍利リフターが上昇して来て、慌ててカバーを取ろうとした際に、リフターフレームとカバーに右手薬指を挟まれケガを負った。	23	10109	7	300 ~ 499
2017	12	13~14	ハンバーグ製造室にてハンバーグを製造中に、ハンバーグ成形機を稼働させながら、ホッパ内の残りの挽き肉を下に落とすために手を入れ、回転羽に指を挟まれてしまった。	61	10109	7	—
2017	12	6~7	工場内にて、パスタ充填機の調整を行っていた際、設備を停止せずにネジを締める作業をしたため、パスタ投入部に巻き込まれ左手中指付近を裂傷した（3ヶ所15針程縫合）。	41	10109	7	100 ~ 299
2017	12	21~22	当社において、バンドソーを使い冷凍本鮪赤身ブロックをサク取りする際に、バンドソーの刃と平行になるべきブロックが傾き、ブロックを押さえていた左示指がバンドソーの刃に当たり受傷した。当初、ステンレスメッシュグローブを使用していたが、商品を箱から取り出す際に外し、うっかりそのまま作業を行ってしまった。今後は、グローブを必ず使用することと、治具等を使用して手指が危険範囲に入らないようにする方法を検討する。	44	80209	8	30~ 49
2017	12	9~10	食パンのスライス作業後に、スライサーの電源を外し、スライサーの刃の周りを専用の箸で清掃中、誤って右手中指を刃に接触させ、負傷した。	20	80209	8	30~ 49



2017	12	12~13	店舗内精肉作業場で精肉スライサーを使用中に布巾で刃の汚れを拭こうとした時、スライサーの回転刃に布巾が巻き込まれて、布巾を持っていた右手が刃に触れてしまい、親指の先を深く切ってしまった。	26	80209	8	10~ 29
2017	12	10~11	精肉加工センター内の豚肉スライス作業場にて、豚肉のスライス作業の準備中、アルコールをスライサーの刃に吹き掛けて刃を回転させたところ、左中指が刃に接触し、指先を切った。調整中であつたため、安全手袋を装着していなかった。	21	10109	8	50~ 99
2017	12	8~9	麺製造作業現場で、作業の空き時間にローラー側面樹脂板についた生地カスを取るため、ビニール手袋を着けた状態で、ローラーが動いている中、左手を入れ、付着した生地を取ろうとしたが手袋の先が挟まり、抜こうとしたが引き込まれ、中指・薬指・小指をローラーに挟まれた。尚、骨に異常はない。	69	10109	7	1~9
2017	12	18~19	精肉作業室でスライサー本体（肉箱）の肉片除去と拭き上げで肉箱と刃の間に手を入れた時、肉箱と刃の間隔を開けずに作業したため、引き戻した中指の爪がスライサーの刃に触れ、中指の爪と指の先端の一部を切創した（安全手袋未着用、ゴム手袋着用）。	18	80209	8	100 ~ 299
2017	12	17~18	本社第1工場の油調室でフライヤーの清掃作業中、機械が動いていることに気づかずにシュートを取り外そうと機械に右手を入れたため、アタッチメントと串落としバーの間に右手首を挟まれた。	29	10109	7	100 ~ 299
2017	12	6~7	工場菓子製造課パイ饅ラインにおいて、被災者が製造準備中、床が滑りやすい状態になっており転倒した。その際に右手を包餡機粉受けカバーについてしまい、右手人差し指と中指の間を切り負傷した。	30	10104	8	100 ~ 299
2017	12	17~18	工場内の餅作業場で鏡もちを製造する機械を清掃中、左手人差し指で機械に付着した餅を取り除いていたところ、誤って機械のスイッチに体が当たり、機械が始動して指を切断した。	33	80209	7	10~ 29
			工房内において、パン生地成形機を掃除中、電源を止めてロー				

2017	12	11~12	ラー上部の蓋を外して掃除すべきところを、蓋を外さず、起動している状態で、ゴム手袋をして布巾でローラーを拭いていたところ、布巾がローラーに巻き込まれると同時に手袋も巻き込まれた。指がローラーに挟まったため、直ぐに電源を停止させた。	45	10104	7	50~ 99
2017	12	11~12	会社内にて食肉をスライサーで加工中、動いた肉を押さえようとした際、誤ってスライサーの刃に右手が触れて右手親指を負傷した。	73	80209	8	1~9
2017	12	17~18	加工場内で、バンドソーを使用して冷凍マグロの加工作業中、誤って手を滑らせ、右手親指がバンドソーの刃に接触し負傷した（メッシュ保護手袋未着用）。	41	10102	8	30~ 49
2017	12	17~18	派遣先工場加工場内で、バンドソーを使用して冷凍マグロの加工作業中、誤って手を滑らせ、右手親指がバンドソーの刃に接触し負傷した（メッシュ保護手袋未着用）。	41	170101	8	50~ 99
2017	12	15~16	フードコート厨房内で肉をスライスしているときに、肉を押さえていた薬指が誤ってスライサーに接触した。スライサーは運転中だったため、指先を斜めに削ぎ、出血が止まらなかったので受診した。	18	140201	8	50~ 99
2017	12	15~16	作業場でローストビーフスライス機械を洗浄清掃しようとして分解していた際、金属の手袋をしなかったために刃の部分が指に触れ、右手人差指を切った。	45	80209	8	500 ~ 999
2017	12	16~17	スイーツ工場において、パイ室のパイマシーンを使用し、チーズケーキグラハムクラッカー（ブロック状）の生地を、2つのプレス工程を通してシート状にする作業をしていた。最終工程で、小さい生地を機械へ入れようと投入口に手を入れて巻き込まれた。	60	10104	7	500 ~ 999
2017	12	18~19	しぐれ原材料加工ラインにて、高速スライサーを清掃中、ベルトコンベアギア部分に右手指先が巻き込まれた。	21	10101	7	30~ 49
			工場野菜裁断室にて胡瓜カット作業中に、毎朝、朝礼にてカット				

2017	12	11~12	刃による手指等の負傷について注意されていたにもかかわらず、注意を怠り、胡瓜機械カット刃により右手人差し指と中指に切り傷を負った。	58	10109	8	30~ 49
2017	12	3~4	当社製造一課フロアにて、作業台の上に筋切り機をのせ、鶏肉の筋切りを行っていた。その際、作業台より筋切り機が滑落し、筋切り機が足の上に落下した。	60	10109	4	100 ~ 299
2017	12	9~10	ネギカット機械にて作業中、ねぎを押し込む際に指ごと奥に入っ てしまい、親指先端を巻き込んで切断した。	17	140201	7	10~ 29
2017	12	14~15	当社作業所で、自動餅つき機で餅つき作業をしていたとき、機械 に手水を注入する際、手水計量カップを自動餅つき機の臼の中に 落とし、拾おうとして誤って右手を入れたために負傷した。	17	10104	7	50~ 99
2017	12	16~17	厨房で鶏肉をミンチにする作業をしている際、鶏肉をミンチ機に 手で入れているとき、誤って左手を入れすぎ、左手中指がミンチ 機に巻き込まれて負傷した。	44	140201	7	1~9
2017	12	9~10	厨房内の餅加工場で餅つき作業中、つきあがった餅を臼から取り 出す工程で、臼底部の羽根と臼側面についている羽根の隙間に左 手を深く差し込みすぎたため、餅と共に巻き込まれ、左手中指の 先をその隙間の部分に食い込ませて損傷した。	48	80209	7	10~ 29
2017	12	23~24	工場内で製造作業の巡回中に、タコ焼き機の駆動部分（タコ焼き の鉄板が水平移動する部分）にタコ焼きのこげが落ちていること に気づき、機械を停止せずに左手でこげを取ろうとしたところ、 鉄板が動いてきて、親指を挟まれて切断した。	47	10109	7	30~ 49
2017	12	12~13	当該事業所において、野菜裁断機で人参を切っている際に、人参 が詰まったので機械を止めて取り除こうとし、手を入れたところ 刃が完全に止まっておらず、右手指を切創した。	67	140209	8	10~ 29
			炊飯製造中、炊きあがったご飯を3枚の回転羽機でほぐす際、ほぐ し羽に左手のビニール手袋が絡まり、手をとられ、手の平に5cm、				

2017	12	13~14	手首から腕にかけて10cmの裂傷と左手腕に打撲を負い、怪我した部分を止血し、治療した。本来は、機械を止めてからするべきところを、止めずに行ってしまった。また、安全カバーがあり、ずらすことでほぐし羽根が停止するのだが、慌ててしまい、それを忘れていた。	64	10109	7	100 ~ 299
2017	12	11~12	本社工場内で、菓子の製造中、機械に生地を補充する際に誤って手を挟んでしまい、右手を負傷した。	20	10104	7	50~ 99
2017	12	10~11	釜あげしらすトップシール機（チェーン駆動の可動機）において、トレー圧着部のしらすを取り除く作業を行っているとき、トレー上の異物を追いかけてすぎて、圧着ローラーに指が巻き込まれてしまった。	48	10102	7	30~ 49
2017	12	11~12	店舗内インスタベーカー部の作業場にて、食パンをスライサー機械を使ってスライスをする作業をしていた際、電源を落とし、スライサーの刃が十分に止まっていない状態で食パンの端の耳部分を取る作業をし、刃が右手人差し指に触れて切ってしまった。	39	80209	8	100 ~ 299
2017	12	10~11	被災労働者は、当院栄養管理棟厨房にて、フードカッターの清掃を行っていた。清掃時は同機器の蓋を開けた状態にしており、刃が露出した状態となっていた。被災労働者が同機器の電源部分の清掃を行っていたところ、勢いで電源がONとなり、左前腕部近くにあった同機器の刃が回転を始めたことにより、左前腕部を刃によって裂傷した。	32	130101	8	500 ~ 999
2017	12	13~14	製造したパンをカットする作業場で、機械でパンをカット中に、本人の不注意により、誤って機械で指を挟み、右手人差し指上部に裂傷を負った。	22	10104	7	10~ 29
2017	12	7~8	砂肝の皮を剥く機械（ギザードピーラー）で作業を行っていた際、砂肝中央部に残った皮を右手で押さえていたとき、誤って右手第3指が直接ピーラーローラーに触れ、皮膚を欠損した。	62	10101	8	100 ~ 299

2017	12	9~10	細かく砕くために使用する破碎機で裁断途中で詰まりが発生し、被災者が対応した。その際、機械を停止したときに「触るな」の札をスイッチ上部に貼らずに対応したため、別の箇所では整備を実施していた主任が、被災者がトラブル対応をしていることに気がつかず、破碎機のスイッチを入れてしまったことで発生した。その際、被災者は削るような切り傷を負った。	29	10109	8	300 ~ 499
2017	12	12~13	併設工場にて製麺作業中、製麺機横にて、製麺機より出てくる麺を麺棒に巻き取り、麺帯を作る作業中、刃物があるのとは反対側をチェックしているときに、刃物側より出来上がる麺の出来具合をチェックしようとした。その際に右手手元を見ておらず、刃物に手を入れてしまい被災した。なお、これまでその様な作業をしたことはない。	63	140201	8	10~ 29
2017	12	11~12	ベーコンをスライスしていたとき、ベーコンが滑り、自分の中指を切ってしまった。	19	80209	8	30~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)